

成果指標 検証票

施策名	1-(4)-ア-①	各地域におけるしまくとうばの保存・普及・継承の促進									
成果指標名	単位	基準値	実績値			目標値 R6年度	達成率	達成状況			
			R4	R5	R6						
しまくとうばを挨拶程度以上使う人の割合	%	28.6	39	36.8	42.5	35	217.2%	目標達成			
			計画値								
			30.7	32.9	35						
担当部課名	文化観光スポーツ部文化振興課										
達成状況の説明											
令和6年度のしまくとうば県民意識調査では、「しまくとうば」の使用頻度について、挨拶程度以上使うとした人の割合は42.5%であり、令和5年度の36.8%から増加しており、目標値の35.0%を上回った。											
要因分析											
類型	説明										
① 計画通りの進捗	「各地域におけるしまくとうばの保存・普及・継承の促進」の施策に係る「主な取組」において、計画で掲げた目標値をほぼ達成していることから、各種取組を多角的に推進した結果、「しまくとうばを挨拶程度以上使う人の割合」の計画値達成に繋がっている。										
対応案											
令和7年度以降もしまくとうば普及の中核的機能を担う「しまくとうば普及センター」を中心に、関係機関や関係団体と連携を図りながら、県民のしまくとうばを聞く機会や話す機会の創出に取り組む。											

(様式3) 「成果指標」検証票

関連する主な取組					
施策番号	1-(4)-ア-①	主な取組名	「しまくとうばアーカイブ」の作成	対応課	文化振興課
成果指標への 寄与の状況	文法調査票90冊、教材の作成1セット、歌50曲、文学的文章50編、自然談話2話の収集・収録を計画通り行い、成果指標に寄与している。				
要因分析	計画どおりしまくとうばのアーカイブ化を進めることができ、各地域におけるしまくとうばの保存・普及・継承につながった。				
対応案	収集対象地域の話者の高齢化により、今後調査を進める上で、収集地域の変更等が必要となってくる場合が想定されるため、県、受託者、対象地域の話者との連携を密にする。				
関連する主な取組					
施策番号	1-(4)-ア-①	主な取組名	しまくとうばに関する各種啓発の実施	対応課	文化振興課
成果指標への 寄与の状況	しまくとうば功労者表彰者数目標値10個人・団体に対し、功労者表彰数は、個人8名、団体1団体であり、おおむね目標を達成しており、成果指標へ寄与した。				
要因分析	しまくとうば功労者表彰者を表彰することで、しまくとうばの普及啓発の取組が推進し、成果指標の推進に寄与するものとする。				
対応案	さらにしまくとうば県民大会の来場者数を増加するため、広報活動を工夫したり、関連イベントを実施するなど県民に興味関心を持ってもらう取組を進める。				

(様式3) 「成果指標」検証票

関連する主な取組					
施策番号	1-(4)-ア-①	主な取組名	しまくとうば講師養成講座の実施	対応課	文化振興課
成果指標への寄与の状況	目標値60回に対し、講座の実施回数は、宮古後期講座31回、沖縄中南部前期講座27回の計58回であった。そのうち、合格者は56名でしており、今後のしまくとうばの普及継承の一翼を担う人材の育成に寄与した。				
要因分析	講師養成講座を計画どおりに実施することで、普及継承を担う人材育成し成果指標の推進に寄与したものとする。				
対応案	新たに講師養成講座を実施する際には、講座認定者の実績紹介するとともに幅広く関係機関に周知するなど、効果的に広報活動を行い、講座の認知度を上げる。				
関連する主な取組					
施策番号	1-(4)-ア-①	主な取組名	しまくとうば出前講座の実施	対応課	文化振興課
成果指標への寄与の状況	しまくとうば関連講座への講師派遣が9件、しまくとうばの普及継承に寄与するモデル事業を目標以上の8件実施し、合計17件の実績となっており、目標値を上回り、成果指標へ寄与した。				
要因分析	しまくとうば関連講座への講師派遣及びしまくとうばの普及継承に寄与するモデル事業を創出することで、成果指標の推進に寄与したものとする。				
対応案	「しまくとうば講師派遣」の認知度を上げるため、これまで実施した講師派遣実績やモデル事業の内容を取りまとめ、対応できる事例をHPで紹介する。				

(様式3) 「成果指標」検証票

関連する主な取組					
施策番号	1-(4)-ア-①	主な取組名	しまくとうば検定の実施	対応課	文化振興課
成果指標への 寄与の状況	令和6年度から本格的にしまくとうばEラーニングを実施したことにより、視聴者数は目標1,000人に対し、5,474人の実績となっており、大幅に目標値を超え、成果指標に寄与した。				
要因分析	計画どおり、該当地域を増やすなどしまくとうばEラーニングの充実を図ったことにより、しまくとうばを挨拶程度以上使う人の割合の増加につながった。				
対応案	Eラーニングで学べる地域を増やすとともに、周知のための普及啓発物を活用し、視聴者数を増加させる。				
関連する主な取組					
施策番号	1-(4)-ア-①	主な取組名	普及に取り組む団体等への支援	対応課	文化振興課
成果指標への 寄与の状況	目標値8団体に対し、しまくとうばの普及効果が期待できる事業を応募9団体の中から8団体採択した。採択された8団体の事業は、講座、公演、大会・コンテストなど多岐にわたり、幅広い年齢層が楽しめる内容で実施されており、多くの県民がしまくとうばに親しむことができ、成果指標に寄与した。				
要因分析	しまくとうばの普及効果が期待できる事業を実施したことで、しまくとうばの普及啓発の推進につながり、成果指標の推進に寄与したものとする。				
対応案	補助金交付決定後においても、積極的に経理上の留意点などを各団体へ周知し、各団体が補助事業を円滑に執行できるようサポートするとともに、補助事業に関する周知を図るため、離島などでしまくとうばの取組を実施している普及団体等へ広報を行う。				

(様式3) 「成果指標」検証票

関連する主な取組					
施策番号	1-(4)-ア-①	主な取組名	しまくとうば普及センターによる相談業務の実施	対応課	文化振興課
成果指標への寄与の状況	相談対応件数99件は、目標値120件にとどかなかったものの、小中高の学生から高年齢の方々まで、幅広い年齢層から問い合わせ対応を行い、しまくとうばの普及継承に寄与している。				
要因分析	しまくとうば普及センターにおける相談対応業務により、しまくとうばを学びたい方の学びを助けることで成果指標の推進に寄与したものとする。				
対応案	県民のしまくとうばへの関心を高めてもらうとともに、しまくとうば普及センターの認知度を高めるため、Webサイトの充実を図るとともに、しまくとうば県民大会などのイベントを活用した広報活動も行う。				

成果指標 検証票

施策名	1-(4)-ア-②	伝統芸能の継承・発展									
成果指標名	単位	基準値	実績値			目標値 R6年度	達成率	達成状況			
			R4	R5	R6						
県の支援した伝統芸能関係団体が実施したイベント（公演等）の参加者数	人	4,750	35,783	368,318	308,940	12,000	4,195.7%	目標達成			
			計画値								
			7,164	9,586	12,000						
担当部課名	文化観光スポーツ部文化振興課										
達成状況の説明											
伝統芸能関係団体が実施する公演に対し県が支援を行うことで、魅力ある伝統芸能公演の開催につながり、令和6年度は目標を大幅に超える約30万人の参加者数となった。											
要因分析											
類型	説明										
① 計画通りの進捗	各種公演が開催されることにより、伝統芸能の魅力発信、鑑賞機会の提供、若手実演家の育成等を通じた、伝統芸能の継承と発展に寄与することができた。										
対応案											
伝統芸能関係団体が実施する公演に対する支援を積極的に行い、手続きについて適切に案内するなどし、イベント参加者の増加を目指す。											

(様式3) 「成果指標」検証票

関連する主な取組					
施策番号	1-(4)-ア-②	主な取組名	国立劇場おきなわの伝統芸能県外公演	対応課	文化振興課
成果指標への寄与の状況	京都公演463人を集客し、来場者アンケートでは、「沖縄文化への関心が高まった」等の意見がよせられた。しかし、入場率は66パーセントとなっており、都市圏での公演ということを踏まえると、さらなる集客が見込める状況であったと考えられる。				
要因分析	開催地の文化と沖縄の文化をコラボさせる演出を加えることで、興味関心を引き出せたと考える。その一方で、周知・広報は受託者が主体となって実施しており、文化振興課による周知・広報活動は実施していなかった。				
対応案	今後も現地の方の興味関心を引き出す工夫をすることで、文化交流を促進するとともに、県庁内の関連部局（観光振興課や商工労働部大阪事務所等）と連携を図ることで、より幅広い層へ広報する。				
関連する主な取組					
施策番号	1-(4)-ア-②	主な取組名	伝統芸能の県外公演	対応課	文化振興課
成果指標への寄与の状況	京都公演278人、金沢公演1,089人を集客した。				
要因分析	文化芸術への理解が深い地域を開催地としたこと、開催地の文化と沖縄の文化をコラボさせる演出を加えることで、興味関心を引き出したこと、現地スタッフを採用し、講演の周知広報活動に力を入れたことなどが集客につながったと考えられる。				
対応案	開催地の文化と沖縄の文化をコラボすることや、現地スタッフの採用等の手法については、他地域の公演でも取り組めるものと考えられるので、引き続き工夫をすることで集客力の強化を図る。				

(様式3) 「成果指標」検証票

関連する主な取組					
施策番号	1-(4)-ア-②	主な取組名	伝統芸能の海外公演	対応課	文化振興課
成果指標への寄与の状況	ロサンゼルスでの開催を予定していたが、現地の山火事の影響により中止となった。				
要因分析	予測できない災害によるもの。				
対応案	引き続き、海外公演の実施に向け取組む。				
関連する主な取組					
施策番号	1-(4)-ア-②	主な取組名	伝統芸能公演への支援	対応課	文化振興課
成果指標への寄与の状況	活動指標としている国立劇場おきなわでの公演への入場者数は目標を下回ったため、成果指標への寄与は限定的であった。				
要因分析	他公演の充実のため、国立劇場おきなわでの公演回数を減らしたことで、活動指標としている国立劇場おきなわでの公演への入場者数は目標を下回ることとなった。 一方、その他の公演の拡充により、かりゆし芸能公演全体の入場者数は増加傾向であるため、成果指標に表れない形で公演等への参加者数が増加している。				
対応案	成果指標への寄与のため、国立劇場おきなわでの公演への入場者数の増加を図る必要があることから、SNS等を活用した広報を強化すると共に、小中学生を対象としたワークショップ等を実施し、入場者数の増加を図る。				

成果指標 検証票

施策名	1-(4)-ア-③	伝統文化の保存・継承・発展									
成果指標名	単位	基準値	実績値			目標値 R6年度	達成率	達成状況			
			R4	R5	R6						
市町村文化協会会員数	名	11,844	10,737	11,224	11,271	14,000	-26.6%	達成は困難			
			計画値								
			12,562	13,282	14,000						
担当部課名	文化観光スポーツ部文化振興課										
達成状況の説明											
目標値に対する達成率は-26.6%となったが、昨年度の達成率-43.1%と比較すると16.5ポイントの上昇となった。市町村文化協会会員数は、会員の高齢化により年々減少傾向にあることに加え、近年では新型コロナウイルス感染症の影響により、会員数が大幅に減少し、その後会員数の戻りが鈍化している状況がある。今後は、コロナ禍前（令和元年度）の水準に戻し、活動水準を維持することを最優先に取り組む。											
要因分析											
類型	説明										
⑪ 高齢化・後継者不足	会員の高齢化により年々減少傾向にある。										
⑫ 社会経済情勢	新型コロナウイルス感染症の影響による地域の文化活動の休止に伴い、更にその会員数を減少させている。										
対応案											
今後も高齢化等により担い手の減少が見込まれることから、コロナ禍前（令和元年度）の活動水準を維持することを最優先に取り組む。文化協会の活性化を図り、県内各地域における次世代の担い手の育成や伝統文化の魅力を再認識させる取組を行うことで、伝統的な文化の継承を図る。											

(様式3) 「成果指標」検証票

関連する主な取組					
施策番号	1-(4)-ア-③	主な取組名	地域伝統芸能を集めた公演	対応課	文化振興課
成果指標への寄与の状況	第11回特選において、各地域の文化協会から推薦された伝統芸能公演を開催し545人を集客し、地域の文化活動を活性化することで成果指標に寄与した。				
要因分析	公演を通し、地域の芸能活動が活性化することで、成果指標の推進に寄与した。				
対応案	今後も公演の開催を継続することで、地域の文化協会の活動を活性化し、成果指標の目標達成を目指す。				
関連する主な取組					
施策番号	1-(4)-ア-③	主な取組名	地域や島でのシンポジウムや座談会の開催	対応課	文化振興課
成果指標への寄与の状況	座談会の開催を通じて、市町村の文化活動に関心を持つことに繋がったと考えられる。				
要因分析	地域の伝統芸能等に関するテーマを取り上げた座談会の開催を通じて、一定程度、伝統的な文化の継承に寄与したものと考えられる。				
対応案	引き続き、地域の伝統文化を見つめ直すよう機運醸成を図る。				

(様式3) 「成果指標」検証票

関連する主な取組					
施策番号	1-(4)-ア-③	主な取組名	琉球料理伝承人の育成・フォローアップ	対応課	文化振興課
成果指標への寄与の状況	沖縄の伝統的な食文化の保存・普及・継承を図り次世代へ継承するため、琉球料理伝承人へフォローアップ講座等を実施し、成果指標の目標達成に寄与した。				
要因分析	新たな担い手を育成するとともに、既存の琉球料理伝承人に対し知識及び技能向上を図るフォローアップ講座を実施し、次世代の担い手を育成することにより、市町村の文化協会会員数の増にもつながるものと考えられる。				
対応案	既存の琉球料理伝承人に対するフォローアップ講座のほか、講師養成講座を実施し、指導者の育成にも取り組む。				
関連する主な取組					
施策番号	1-(4)-ア-③	主な取組名	伝統的食文化のユネスコ無形文化遺産登録に向けた県民の気運醸成	対応課	文化振興課
成果指標への寄与の状況	沖縄の伝統的な食文化の保存・普及・継承を図り次世代へ継承するため、琉球料理伝承人出前講座を実施し、成果指標の目標達成に寄与した。				
要因分析	琉球料理伝承人出前講座を通じ、地域住民、食関連事業者、修学旅行関係者及び学校関係者に琉球料理の情報を発信し、沖縄の伝統的な食文化の保存・普及・継承が図られた。				
対応案	琉球料理伝承人出前講座について、これまで委託事業として実施してきたが、令和7年度は補助事業として実施し、組織的な活動のノウハウの蓄積等を図る。				

成果指標 検証票

施策名	1-(4)-イ-①	創造的文化芸術の発展を担う人材の育成									
成果指標名	単位	基準値	実績値			目標値 R6年度	達成率	達成状況			
			R4	R5	R6						
沖縄県立芸術大学の卒業者数（累計）	人	4,011	4,303	4,452	4,585	4,542	108.1%	目標達成			
			計画値								
			4,188	4,365	4,542						
担当部課名	文化観光スポーツ部文化振興課										
達成状況の説明											
計画値を上回る卒業者数となった。引き続き、大学運営の改善を行うほか施設整備を計画的に実施するなど、良好な職場環境の確保に努める。											
要因分析											
類型	説明										
① 計画通りの進捗	合同企業説明会の開催や運営費交付金の交付を通じて良好な職場環境の確保に努めた結果、一定程度、卒業者数の増に繋がったものと考えられる。										
対応案											
引き続き、大学運営の改善を行うほか施設整備を計画的に実施するなど、良好な教育環境の確保に努める。											

(様式3) 「成果指標」検証票

関連する主な取組					
施策番号	1-(4)-イ-①	主な取組名	九州芸術祭（文学賞）の実施	対応課	文化振興課
成果指標への寄与の状況	九州芸術祭文学賞に県内から28作品の応募があり、本県の文化芸術の発展を担う人材の育成に寄与した。				
要因分析	県民の文学に対する意識向上が図られることで、次の担い手としての人材育成につながったものと思慮する。				
対応案	芸術文化の発展を担う人材の育成を図るため、九州芸術祭文学賞として、未発表の文学作品（小説）を公募し、広報に努める。				
関連する主な取組					
施策番号	1-(4)-イ-①	主な取組名	おきなわ文学賞の実施	対応課	文化振興課
成果指標への寄与の状況	沖縄文学賞へ目標を上回る応募があり、成果目標の達成に寄与した。				
要因分析	沖縄文学賞へ目標を上回る応募があり、本県における文学活動の推奨及び県民文化の振興が図られたことで、将来的な沖縄県立大学の卒業者数の増加につながったと思慮する。				
対応案	広報活動の強化やワークショップの拡充を行い、応募者の更なる増加を図る。				

(様式3) 「成果指標」検証票

関連する主な取組					
施策番号	1-(4)-イ-①	主な取組名	沖縄県立芸術大学における就職支援	対応課	文化振興課
成果指標への寄与の状況	合同企業説明会を開催したことにより就職が決定した学生は、より学業に専念できることから、沖縄県立芸術大学の卒業者数の増に寄与している。				
要因分析	合同企業説明会を開催し就職支援としてキャリア教育を実践することで就職活動の充実に繋がり、より学業に専念できる環境を整えることで、一定程度、卒業者数の増に繋がったものと考えられる。				
対応案	継続して、学生と企業のマッチングを図るための合同企業説明会を開催するなど、卒業後や終了後の就職支援に向けた取組を行う。				
関連する主な取組					
施策番号	1-(4)-イ-①	主な取組名	沖縄県立芸術大学における教育研究活動の推進	対応課	文化振興課
成果指標への寄与の状況	運営費交付金の交付を通じて大学運営を支援することにより、安全かつ安心な教育研究環境の整備を行い、学生の学修意欲や教育効果を高めることができたものとする。				
要因分析	学長となる理事長のトップマネジメントにより、法人全体の視点に立った意志な意思決定や、効率的かつ効果的な予算等の配分など、戦略的で機動的な業務運営が行われていることにより、沖縄県立芸術大学の卒業者数の増につながっているものと考えられる。				
対応案	継続して、運営費交付金を通じて財務面で大学運営を支援することにより、安全かつ安心な教育研究環境の整備を行っていく。				

成果指標 検証票

施策名	1-(4)-イ-②	県民等の文化芸術活動の充実									
成果指標名	単位	基準値	実績値			目標値 R6年度	達成率	達成状況			
			R4	R5	R6						
国立劇場おきなわの入場者数	人	16,156	35,608	35,080	34,216	54,800	46.7%	達成に努める			
			計画値								
			29,024	41,932	54,800						
担当部課名	文化観光スポーツ部文化振興課										
達成状況の説明											
令和6年度の入場者数は34,216人であり、目標値に達してはいない。令和5年度と比較して、公演数が減少しているため入場者数も減少したと思われる。											
要因分析											
類型	説明										
⑪ 高齢化・後継者不足	令和4、5年度に比べて令和6年度の来場者数が伸び悩んでいる。鑑賞者の層が高齢者に偏っており、若い世代への周知・啓発が必要である。										
対応案											
国立劇場おきなわでの組踊鑑賞教室やワークショップ等の取り組みを強化し、今まで鑑賞したことがなかった方や若い世代にも沖縄の伝統芸能のすばらしさに触れてもらうことで入場者数の増加につなげる。 また、多くの県民に、文化芸術に触れる機会を提供するための取り組みを行っていく。											

(様式3) 「成果指標」検証票

関連する主な取組					
施策番号	1-(4)-イ-②	主な取組名	国立劇場おきなわ鑑賞層拡大事業	対応課	文化振興課
成果指標への寄与の状況	若年層を対象に、学校・クラス単位で国立劇場へ招待することで、入場者数に貢献した。				
要因分析	国立劇場おきなわへは距離があり、団体で行くには厳しい地域の学校もある。				
対応案	ワークショップ等、こちらから赴く形で場を設けたい。				
関連する主な取組					
施策番号	1-(4)-イ-②	主な取組名	北部・離島地域における文化芸術体験機会の提供	対応課	文化振興課
成果指標への寄与の状況	北部・離島地域における文化芸術体験を通して、オーケストラによる生演奏の迫力を体感してもらえた。				
要因分析	オーケストラの公演では沖縄の音楽も演目として取り入れている。身近な伝統芸能もオーケストラの手法により解釈を変えることで、興味関心を喚起することができたことから、成果指標の推進に寄与するものと思慮する。				
対応案	アンケート結果に基づく住民のニーズを公演内容に反映させる。				

(様式3) 「成果指標」検証票

関連する主な取組					
施策番号	1-(4)-イ-②	主な取組名	沖縄県芸術文化祭の実施	対応課	文化振興課
成果指標への寄与の状況	展示場へ、延べ6,617人の来場があり、成果指標に一定程度寄与することができた。				
要因分析	多くの県民に、文化芸術に触れる機会を提供することができた。				
対応案	引き続き、沖縄県芸術文化祭において、作品の募集・展示を行い直接文化芸術に触れる機会を創出する。				
関連する主な取組					
施策番号	1-(4)-イ-②	主な取組名	九州芸術祭（舞台公演）の実施	対応課	文化振興課
成果指標への寄与の状況	舞台公演として重要無形文化財保持者等公演を令和7年2月16日にかでな文化センターで行い、多くの県民に文化芸術に触れる機会を提供することができたことで、成果指標へ一定程度寄与したと考える。				
要因分析	多くの県民に文化芸術に触れる機会を提供できたことにより、文化芸術への理解促進・興味関心の喚起につなげ、国立劇場おきなわの来場意欲の喚起に一定程度につながったものと考えられる。				
対応案	引き続き、重要無形文化財保有者等による舞台公演を行い、文化芸術に触れる機会を提供する。				

(様式3) 「成果指標」検証票

関連する主な取組					
施策番号	1-(4)-イ-②	主な取組名	県内市町村等の文化芸術に対する支援の促進	対応課	文化振興課
成果指標への 寄与の状況	市町村の地域の伝統芸能等を集めた公演等の自主事業に対し令和4～6年度助成事業の累積採用件数が11件と目標値を上回る助成が行われたことで、地方公共団体等の文化振興の発展を通じて成果指標に寄与したものと考える。				
要因分析	文化の担い手は小さい団体が多く、独力での事業実施に限界があるため、財団等による支援に対するニーズが高いと考える。				
対応案	引き続き文化の基層であり、地域ごとに特色がある市町村の地域の伝統芸能を集めた公演等の自主事業を支援する。				
関連する主な取組					
施策番号	1-(4)-イ-②	主な取組名	文化振興事業費	対応課	文化財課
成果指標への 寄与の状況	—				
要因分析	—				
対応案	—				

(様式3) 「成果指標」検証票

関連する主な取組					
施策番号	1-(4)-イ-②	主な取組名	青少年文化活動事業費	対応課	文化財課
成果指標への 寄与の状況	—				
要因分析	—				
対応案	—				
関連する主な取組					
施策番号	1-(4)-イ-②	主な取組名	沖縄県身体障害者福祉展	対応課	障害福祉課
成果指標への 寄与の状況	—				
要因分析	—				
対応案	—				

(様式3) 「成果指標」検証票

関連する主な取組					
施策番号	1-(4)-イ-②	主な取組名	美ら島おきなわ文化祭2022の開催に向けた取組	対応課	文化振興課
成果指標への 寄与の状況	-				
要因分析	-				
対応案	-				

成果指標 検証票

施策名	1-(4)-イ-③	文化資源を活用した地域づくり									
成果指標名	単位	基準値	実績値			目標値 R6年度	達成率	達成状況			
			R4	R5	R6						
県内の文化芸術に関する取組を行う団体等への支援件数	件	115	127	73	90	142	-92.6%	達成は困難			
			計画値								
			124	133	142						
担当部課名	文化観光スポーツ部文化振興課										
達成状況の説明											
市町村や関連団体の歴史文化関連事業の調査及び琉球歴史文化の日事業としての連携の可否の調査をする時点では未定、無回答の団体があり、目標件数に達しなかったが、市町村や関連団体とともに関連事業を実施することにより、県民の沖縄の歴史と文化への理解を深められた。											
要因分析											
類型	説明										
⑮ その他個別要因	市町村や関連団体の歴史文化関連事業の調査及び琉球歴史文化の日事業としての連携の可否の調査をする時点では未定、無回答の団体があったため、目標達成につなげることができなかった。										
対応案											
歴史文化関連事業の調査及び琉球歴史文化の日事業としての連携の可否に関する調査について、時期や回数、アプローチ方法等を見直し、連携事業数の増加を図る。											

(様式3) 「成果指標」検証票

関連する主な取組					
施策番号	1-(4)-イ-③	主な取組名	琉球歴史文化の日周知啓発推進事業	対応課	文化振興課
成果指標への寄与の状況	市町村や関連団体とともに関連事業を実施することにより、県民の沖縄の歴史と文化への理解を深められた。また、故郷への誇りや愛着を感じられる地域社会の形成に取り組むとともに、新たな歴史と文化を県民自らの手で創造していくことを図ることができた。				
要因分析	市町村や関連団体へ「琉球歴史文化の日」を周知して連携を呼び掛けるとともに、本事業の趣旨に合致する事業に対して、沖縄県のHPに掲載して周知することで県内の文化芸術に関する取組を行う団体等の事業の認知度の向上につながったと考えられる。				
対応案	関連事業調査に未定と回答した団体や、無回答の団体に対して情報を提供し、関連事業の運営のサポートをする。				
関連する主な取組					
施策番号	1-(4)-イ-③	主な取組名	文化資源を活用した沖縄観光の魅力アップに関する取組	対応課	文化振興課
成果指標への寄与の状況	文化団体が宿泊施設等で実施する文化体験プログラム(琉球舞踊等の披露)の実施を4件支援し、成果指標に寄与している。(実施回数11件、来場者数約1,267人)				
要因分析	文化体験プログラムの実施により、文化団体の活動機会を確保するほか、文化団体等と宿泊施設等観光事業者をつなぐことにより連携が促進され、今後の文化活動の機会の増が見込まれる。				
対応案	文化体験プログラムについて、これまで以上に観光事業者等へ周知を図ることにより、文化体験プログラムの実施回数や参加者数の増加を図る。				

(様式3) 「成果指標」検証票

関連する主な取組					
施策番号	1-(4)-イ-③	主な取組名	琉球料理伝承人派遣事業（出前講座）	対応課	文化振興課
成果指標への寄与の状況	沖縄の伝統的な食文化の保存・普及・継承を図り次世代へ継承するため、琉球料理伝承人出前講座を実施し、成果指標の目標達成に寄与した。				
要因分析	琉球料理伝承人出前講座を通じ、地域住民、食関連事業者、修学旅行関係者及び学校関係者に琉球料理の情報を発信し、沖縄の伝統的な食文化の保存・普及・継承が図られた。				
対応案	琉球料理伝承人出前講座について、これまで委託事業として実施してきたが、令和7年度は補助事業として実施し、組織的な活動のノウハウの蓄積等を図る。				
関連する主な取組					
施策番号	1-(4)-イ-③	主な取組名	日本遺産普及啓発事業	対応課	文化振興課
成果指標への寄与の状況	Webサイト等を活用し琉球文化日本遺産ストーリーと構成文化財の魅力を県内外に広く発信し、観光資源としての活用を促し、成果指標の目標達成に寄与した。				
要因分析	琉球文化日本遺産ストーリーと構成文化財の魅力を県内外に広く発信することで、県内の文化芸術に関する取組を行う団体の活動促進につなげることができたと思慮する。				
対応案	引き続き、琉球文化日本遺産ストーリーと構成文化財の魅力を県内外に広く発信していく。				

(様式3) 「成果指標」検証票

関連する主な取組					
施策番号	1-(4)-イ-③	主な取組名	文化芸術関係団体等への助成	対応課	文化振興課
成果指標への寄与の状況	県内文化団体等へ23件の助成を行うことにより、成果指標の目標達成に寄与した。				
要因分析	補助事業の内容について、説明会やセミナーの開催等により、効果的な周知が行えたことにより、団体等への支援件数の増加につながった。				
対応案	引き続き、企業の文化芸術に対する支援を促進することで、文化芸術活動を支える基盤の強化を図る。				

成果指標 検証票

施策名	1-(4)-イ-④	文化芸術活動を支える基盤の強化									
成果指標名	単位	基準値	実績値			目標値 R6年度	達成率	達成状況			
			R4	R5	R6						
県内文化施設の稼働状況	%	31.6	54.9	54.9	60.1	55	121.8%	目標達成			
				(令和4年度)	(令和5年度)						
			計画値								
			39.4	47.2	55						
担当部課名	文化観光スポーツ部文化振興課										
達成状況の説明											
令和6年度の実績値は調査中。6月末に確定の見込み。 現時点で把握している令和5年度の実績値は60.2%であり、目標値の55%を上回っている。											
要因分析											
類型	説明										
① 計画通りの進捗	県内文化施設の稼働率は目標値を上回っているものの6割程度に留まっているため、引き続き稼働率の向上に向けた取組が必要である。										
対応案											
令和7年度から県内文化団体等の稽古場使用費用への支援を行い、稼働率の更なる向上を図る。											

(様式3) 「成果指標」検証票

関連する主な取組					
施策番号	1-(4)-イ-④	主な取組名	沖縄県立博物館・美術館の管理運営	対応課	文化振興課
成果指標への寄与の状況	沖縄県の自然・歴史・文化・芸術の研究拠点・展示・収蔵施設として施設を指定管理者とともに適切に管理運営することにより施設の安定的な稼働につなげ、多くの来館者を迎えることができ、県の文化芸術活動を支える基盤の強化に寄与した。				
要因分析	年間を通して開館し、沖縄県の自然・歴史・文化・芸術の各種資料の収集保管、調査研究をし、その成果を展示、教育普及活動において県民向けに提供・発信した。また博物館・美術館の機能と役割が十分に果たせるよう、老朽化に伴う不具合箇所等の修繕を計画的に実行した。				
対応案	今後も沖縄県の自然・歴史・文化・芸術の研究拠点・展示・収蔵施設としての役割を果たせるよう、館の管理運営と保全修繕を計画的に実行するとともに、博物館・美術館活動の活性化を図り、県の文化芸術活動に対する県民のニーズに応える。				
関連する主な取組					
施策番号	1-(4)-イ-④	主な取組名	美術館資源発信基盤整備事業	対応課	文化振興課
成果指標への寄与の状況	美術館収集資料のデータベース構築に向けた資料群の整理を目標値どおりに行い、資料の利活用が可能な状態の整備を着実に進めることができたことで、成果指標に寄与した。				
要因分析	美術館収集資料のデータベース構築に向けて、資料群の整理、資料の利活用が可能な状態の整備を着実に進めることで、成果指標の推進に寄与できたものとする。				
対応案	オンラインデータベースを介した資料群の公開により美術館資源の発信基盤を強化し、美術館の利用者数の向上及び外部研究者による閲覧件数の向上を実現することで、稼働率の向上に寄与する。				

(様式3) 「成果指標」検証票

関連する主な取組					
施策番号	1-(4)-イ-④	主な取組名	琉球歴史文化の日に歴史文化に関する取組を行う 催物等への公共施設の無料開放	対応課	文化振興課
成果指標への 寄与の状況	施設を無料開放し文化関連イベントを実施することで、県民の文化への関心が高まり、文化施設稼働率の向上に寄与する。				
要因分析	令和5年度は、琉球歴史文化の日に歴史文化に関する取組を行う催物等について、4件の県有施設の無料開放を実施したことにより、施設の稼働状況の向上につながった。				
対応案	琉球歴史文化の日とその趣旨について普及・啓発するための広報活動と、県民が沖縄の歴史と文化への理解を深めるための 関連事業を実施することにより、県民の文化への関心を高め、イベントの増につなげていく。				
関連する主な取組					
施策番号	1-(4)-イ-④	主な取組名	文化発信交流拠点の充実	対応課	文化振興課
成果指標への 寄与の状況	令和5年度の施設稼働率は目標を上回り、成果指標の達成に寄与した。				
要因分析	文化施設に対する稼働率調査を実施することで、施設管理者等の意識の向上が図られ、稼働率の向上につながった。				
対応案	施設稼働率の一層の向上を図るため、文化団体等による稽古場確保のための支援を行う。				

(様式3) 「成果指標」検証票

関連する主な取組					
施策番号	1-(4)-イ-④	主な取組名	企業の文化芸術に対する支援の促進	対応課	文化振興課
成果指標への 寄与の状況	市町村の地域の伝統芸能等を集めた公演等の自主事業に対し10件の助成が行われ、公立文化施設の利活用推進に寄与した。				
要因分析	文化の担い手は小さい団体が多く、独力での事業実施に限界があるため、財団等による支援に対するニーズが高いと考える。				
対応案	引き続き文化の基層であり、地域ごとに特色がある市町村の地域の伝統芸能を集めた公演等の自主事業を支援する。				

成果指標 検証票

施策名	1-(4)-ウ-①	沖縄空手の指導者及び後継者の育成									
成果指標名	単位	基準値	実績値			目標値 R6年度	達成率	達成状況			
			R4	R5	R6						
県内空手道場における門下生数（1道場あたりの平均）	人	32	23.1	23.1	21.3	36	-267.5%	達成は困難			
				(R4年度)	(R5年度)						
			計画値								
			33	35	36						
担当部課名	文化観光スポーツ部空手振興課										
達成状況の説明											
令和6年度時点の門下生数について、今後、県内道場へのアンケート調査にて調査予定。 各種取組を推進しているところだが、R5年度もR4年度と比較し門下生数は減少しており、目標値の達成は困難であると予想される。											
要因分析											
類型	説明										
⑫ 社会経済情勢	指導者の育成を図ることで門下生数の増加にも寄与するものであるが、門下生数の減少は新型コロナウイルス感染症の拡大により空手道場の活動が制限された影響が考えられる。										
対応案											
引き続き指導者の育成を図ることが必要であり、指導者の育成を継続的に取り組んでいく。 また、幼少期の子どもが空手に触れる機会を創出する観点から、子どもに対して体験レベルの指導ができるよう保育所等専門指導者育成セミナーを開催するとともに、北部や離島地域への派遣を含めて、派遣校数を増やしていく。											

(様式3) 「成果指標」検証票

関連する主な取組					
施策番号	1-(4)-ウ-①	主な取組名	関係団体の自主事業に対する支援	対応課	空手振興課
成果指標への寄与の状況	沖縄空手道振興会の自主事業構築に向けたライセンスビジネス等の調査検討および支援（1件）を行ったことで、沖縄空手の発展に寄与した。				
要因分析	沖縄空手オリジナルキャラクタの世界大会会場での子どもたちとの交流や、世界大会および空手の日関連でのテレビ出演等を行ったことで、キャラクタおよび沖縄空手の認知度向上に努めた。				
対応案	引き続きオリジナルキャラクタを活用した取組を行うとともに、沖縄伝統空手道振興会の自主事業構築に向けたライセンスビジネス等の調査検討と取組推進を図る。				
関連する主な取組					
施策番号	1-(4)-ウ-①	主な取組名	指導者の育成	対応課	空手振興課
成果指標への寄与の状況	沖縄空手の各流派に通底する沖縄空手の本質、共通する鍛錬法や指導方法などを取りまとめ、県内若手指導者が空手入門者に指導する際の体系書を策定することで道場の指導体制が強化され、門下生の増加に寄与している。				
要因分析	指導者の育成を図ることは門下生数の増加にも寄与するものであるが、新型コロナウイルス感染症により減少した門下生数が令和6年度においても戻りきっていないものと考えられる。				
対応案	引き続き指導者の育成を図ることが必要であり、当事業を継続的に取り組んでいく。				

(様式3) 「成果指標」検証票

関連する主な取組					
施策番号	1-(4)-ウ-①	主な取組名	国内への指導者の派遣	対応課	空手振興課
成果指標への 寄与の状況	熟練指導者が県外へ招聘された際に若手指導者が同行する渡航費の補助することで若手指導者が指導のノウハウを学び指導者の育成につながることで、県内空手道場における門下生数の増加に寄与するものと考えるが、令和6年度においては県外への派遣実績が0となっている。				
要因分析	県外への渡航費用補助により国内への指導者の派遣を実施しようとしたが、県内空手道場への周知不足により補助申請件数が0件だったため、県内道場における門下生数の増加にはつながらなかった。				
対応案	県内の空手道場に対してSNS等を活用し当該事業の内容を周知することで補助申請件数を増加させ、県内の空手道場における門下生数の増加につなげていく。				
関連する主な取組					
施策番号	1-(4)-ウ-①	主な取組名	学校への講師の派遣	対応課	空手振興課
成果指標への 寄与の状況	幼少期から空手体験機会を創出し空手道場門下生数の増加に寄与するため、県内小中高校等へ空手指導者を派遣し、出前講座を実施している。令和6年度は県内保育所等35校、小学校3校、中学校2校に空手指導者を派遣し、計1,772名の児童生徒が参加した				
要因分析	学校等への講師を派遣して幼少期の子どもたちへ沖縄空手を普及し、空手に興味を持ってもらうことで、県内空手道場の門下生数の増加につながっていると考え。				
対応案	幼少期の子どもが空手に触れる機会を創出する観点から、子どもに対して体験レベルの指導ができるよう保育所等専門指導者育成セミナーを開催する。また、北部や離島地域への派遣を含めて、派遣校数を増やしていく。				

(様式3) 「成果指標」検証票

関連する主な取組					
施策番号	1-(4)-ウ-①	主な取組名	巡回展の開催	対応課	空手振興課
成果指標への 寄与の状況	沖縄空手について収集した関係資料を紹介する巡回展を開催し、広く県民に向けて情報発信を行うことで、沖縄空手の関心を高め、県内空手道場への入門などへ繋げた。				
要因分析	巡回展の開催により、広く県民に対して沖縄空手への関心を高めることには繋がるものの、門下生の増加に寄与するまでの動機付けに至ってない。				
対応案	巡回展の開催により、広く県民に対して情報発信を行うとともに、指導者に対しても自分の流派以外の知識も深めて後継者へも伝授してもらうことで、沖縄空手全体の門下生の増加に繋げていく。				

成果指標 検証票

施策名	1-(4)-ウ-②	沖縄空手会館を拠点とした「空手発祥の地・沖縄」の強力な発信														
成果指標名	単位	基準値	実績値			目標値 R6年度	達成率	達成状況								
			R4	R5	R6											
県外における「空手発祥の地・沖縄」の認知率	%	36.8	30.8	30.7	29.2	55	-41.8%	達成は困難								
			計画値													
			42.9	48.9	55											
担当部課名	文化観光スポーツ部空手振興課															
達成状況の説明																
県外で開催される物産展・旅行展での空手演武等を行うイベントの観覧者へは「空手発祥の地・沖縄」を普及できているが、イベント外（観覧していない人、イベント開催地以外の地域）の一般層への普及活動ができていないため、目標達成に至らなかった。																
要因分析																
類型	説明															
⑤ 周知・啓発不足等	県外で開催される物産展・旅行展での空手演武等を行うイベントの観覧者へは「空手発祥の地・沖縄」を普及できているが、イベントを観覧していない人やイベント開催地以外の一般層への普及活動ができていないため、県外に幅広く情報発信を行う必要がある。															
対応案																
県外イベントでの空手演武を実施するにあたって、より多くの人々に観覧してもらえるよう情報発信するとともに、SNSの活用や沖縄空手映像コンテンツ制作等、イベント外の一般層にも普及できるよう広報の充実を図る。																

(様式3) 「成果指標」検証票

関連する主な取組					
施策番号	1-(4)-ウ-②	主な取組名	沖縄空手ガイドの養成	対応課	空手振興課
成果指標への寄与の状況	沖縄空手の歴史や特徴等を学ぶ養成講座を実施し、沖縄空手の専用のガイドを養成した。英語のほか、中国語、スペイン語等の多言語のガイドを養成した。これらの取組により、県外における「空手発祥の地・沖縄」の認知率に寄与するものと考えられる。				
要因分析	空手団体や各道場における周年行事や空手セミナーなどへの海外空手愛好家の来訪をはじめ、空手ツーリズムなどによる空手ガイドの需要の増加が予想され、県外における「空手発祥の地・沖縄」の認知率につながるものと考えられる。				
対応案	これまでに養成した空手ガイドの実働人数を増やすため、卒業生向けの実践研修について検討する。				
関連する主な取組					
施策番号	1-(4)-ウ-②	主な取組名	国内外の空手愛好家の受入	対応課	空手振興課
成果指標への寄与の状況	沖縄空手案内センターHPにおいて、沖縄空手に関する大会やセミナー等の情報を随時公開しており、国内外における「空手発祥の地・沖縄」の認知率の向上を図っている。				
要因分析	利用者が必要な情報に簡単にアクセスできるよう、ホームページの掲載方法の検討や掲載情報の整理等を行うことにより、県外における「空手発祥の地・沖縄」の認知率の向上につながる。				
対応案	引き続き、これまでホームページに掲載した情報を整理し、不要な情報の削除、必要な情報に簡単にアクセスできる掲載方法の検討、空手カレンダーや県内道場一覧等の情報充実を図る。				

(様式3) 「成果指標」検証票

関連する主な取組					
施策番号	1-(4)-ウ-②	主な取組名	企画展の開催	対応課	空手振興課
成果指標への寄与の状況	専門家の監修によって沖縄空手に理解を深める企画展を開催し、「空手発祥の地・沖縄」の理解促進に寄与することができた。				
要因分析	企画展のポスター・チラシは、県内各空手道場、行政機関及び学校等教育機関に配布しており、沖縄空手会館へ足を運ばなかった県民等へも周知が図られ、「空手発祥の地・沖縄」の理解促進に繋がっている。				
対応案	引き続き専門家の監修による企画展を開催するとともに企画展のチラシで周知することにより、「空手発祥の地・沖縄」の理解促進に取り組む。				
関連する主な取組					
施策番号	1-(4)-ウ-②	主な取組名	出前講座の開催	対応課	空手振興課
成果指標への寄与の状況	沖縄空手の研究員、学芸員及び有識者等が講師や報告者となる沖縄空手アカデミー出前講座を開催し、「空手発祥の地・沖縄」の理解促進に寄与することが出来た。				
要因分析	沖縄空手アカデミーのチラシは県内空手道場、行政機関等に配布しており、沖縄空手会館へ足を運ばなかった県民等へも周知が図られ、「空手発祥の地・沖縄」の理解促進に繋がっている。				
対応案	引き続き、沖縄空手の研究員等に講師又は報告者となっただき、チラシ等で周知を図ったうえで沖縄空手アカデミーを開催する。				

(様式3) 「成果指標」検証票

関連する主な取組					
施策番号	1-(4)-ウ-②	主な取組名	沖縄空手の普及・啓発	対応課	空手振興課
成果指標への寄与の状況	新型コロナウイルスの影響が少なくなり目標であった県外イベントへ4回出演した。9月に開催された「ツーリズムEXPOジャパン」での空手演武ステージおよびPRブース出展においては、814名が来場者アンケートに回答し、うち53.4%の方が空手発祥の地が沖縄県であることを認知しているという結果となるなど、県外イベントにおける発信が県外における「空手発祥の地・沖縄」の認知率の向上に寄与していると考えられる。				
要因分析	イベントの観覧者へは「空手発祥の地・沖縄」を普及できているが、イベントを観覧していない人やイベント開催地以外の一般層への普及活動ができていないため、県外に幅広く情報発信する必要がある。				
対応案	イベント開催地以外の一般層への普及活動が不十分なため、SNS広告等を活用して県外に幅広く情報発信する。				
関連する主な取組					
施策番号	1-(4)-ウ-②	主な取組名	沖縄空手関連コンテンツの制作	対応課	空手振興課
成果指標への寄与の状況	沖縄空手の体験や関連史跡のツアーなどの空手ツーリズム商品を造成することで、国内外の観光客や空手愛好家等に伝統文化としての沖縄空手を知ってもらい、「空手発祥の地・沖縄」の認知率向上に寄与する。				
要因分析	造成した空手観光コンテンツに国内外からの観光客等が参加し、沖縄空手の普及・啓発に繋がった。				
対応案	引き続き、事業者向け説明会の開催や関係団体との連携を通して、空手ツーリズム受入体制構築事業の周知を図る。				

成果指標 検証票

施策名	1-(4)-ウ-③	沖縄空手世界大会の定期開催等を通じた国際交流									
成果指標名	単位	基準値	実績値			目標値 R6年度	達成率	達成状況			
			R4	R5	R6						
県外・海外からの空手関係者来訪数	人	71	1,971	9,228	8,496	12,700	66.7%	目標達成の見込み			
			計画値								
			4,276	8,495	12,700						
担当部課名	文化観光スポーツ部空手振興課										
達成状況の説明											
令和6年8月には第2回沖縄空手少年少女世界大会を開催し、国内外から1,438人の参加があった。また、各空手団体及び道場における周年行事や、空手セミナーなどの開催もあったが、県外・海外からの空手関係者来訪数は目標12,700人に対し、実績8,496人となり、目標に届かなかった。											
要因分析											
類型	説明										
① 計画通りの進捗	第2回大会には27の国・地域から競技に1,438名、セミナーに407名が参加し、国際交流の促進と沖縄空手の継承に大きく寄与した。今後も定期開催が重要である。										
① 計画通りの進捗	世界大会を契機に「空手の日」演武祭や各空手団体や道場単位での大会やセミナーが開催され、国内外から来訪者が増加しており、継続的な大会運営が求められる。										
⑫ 社会経済情勢	コロナ禍の規制緩和を契機に、世界大会やセミナーへの県外・海外からの空手関係者が増加しているが、成果目標に届かなかったため、今後は受入体制の強化に取り組み、来訪数の増加を図る。										

(様式3) 「成果指標」検証票

対応案					
第3回沖縄空手世界大会の開催に向け、大会周知のための関連イベント及び海外キャラバンを実施し、大会の機運醸成を図る。 また、今後も継続的に記念演武祭が開催できるよう、県内空手道場や空手関係団体等と連携するとともに、記念演武祭の周知広報に努める。					
関連する主な取組					
施策番号	1-(4)-ウ-③	主な取組名	沖縄空手世界大会の開催	対応課	空手振興課
成果指標への寄与の状況	沖縄空手世界大会及び沖縄空手少年少女世界大会を開催することで、県外・海外からの空手関係者来訪数の増加に寄与する。				
要因分析	大会の開催により、県外・海外からの空手関係者の来訪数の増加につながる。				
対応案	第3回沖縄空手世界大会の開催に向け、大会周知のための関連イベント及び海外キャラバンを実施し、大会の機運醸成を図る。				
関連する主な取組					
施策番号	1-(4)-ウ-③	主な取組名	沖縄空手少年少女世界大会の開催	対応課	空手振興課
成果指標への寄与の状況	大会を開催することで、県外・海外からの空手関係者来訪数の増加に寄与する。				
要因分析	大会の開催により、県外・海外からの空手関係者の来訪数の増加につながる。				
対応案	第3回沖縄空手世界大会の開催に向け、大会周知のための関連イベント及び海外キャラバンを実施し、大会の機運醸成を図る。				

(様式3) 「成果指標」 検証票

関連する主な取組					
施策番号	1-(4)-ウ-③	主な取組名	海外への指導者の派遣	対応課	空手振興課
成果指標への寄与の状況	令和6年度の成果目標はまだ確認中であるが、空手発祥の地である沖縄から海外へ指導者を派遣し指導・セミナーの開催をすることにより、海外からの空手関係者来訪者数の増加に一定程度寄与しているものとする。				
要因分析	沖縄から海外へ指導者を派遣することにより、本場沖縄の空手道場へ行きたい気持ちや派遣された指導者以外のさまざまな指導者から指導を受けてみたいという気持ちを増幅させることで沖縄への来訪者の増加につながる。				
対応案	今後も継続して海外への指導者を派遣し、派遣件数を増やすことでより多くの海外からの空手関係者来訪につなげていく。				
関連する主な取組					
施策番号	1-(4)-ウ-③	主な取組名	沖縄空手に関するイベントの開催	対応課	空手振興課
成果指標への寄与の状況	10月25日が空手の日であることを記念し、イベントを開催した。記念演武祭は国際通りに2,221名の空手家が集まり一斉演武を行ったとともに、沿道では約10,000名の観客が観覧した。				
要因分析	令和7年は「空手の日」制定20周年であることから、令和7年度開催予定の「空手の日」関連行事については、国内外からの参加者数の増加が予想される。				
対応案	今後も継続的に記念演武祭が開催できるよう、県内空手道場や空手関係団体等と連携するとともに、記念演武祭の周知広報に努める。				

成果指標 検証票

施策名	1-(4)-ウ-④	ユネスコ無形文化遺産の登録に向けた取組の推進									
成果指標名	単位	基準値	実績値			目標値 R6年度	達成率	達成状況			
			R4	R5	R6						
県民気運の醸成及び普及啓発のためのイベント参加人数	人	11,500	3,942	13,135	14,196	12,800	達成	目標達成			
			計画値								
			11,933	12,367	12,800						
担当部課名	文化観光スポーツ部空手振興課										
達成状況の説明											
ユネスコ無形文化遺産登録に向けた県民の機運醸成を図るため、シンポジウムを開催し、アーカイブ動画の配信を行っている。また、空手の日関連イベントのほか、沖縄空手の普及啓発のためのイベントも実施した。これらの取組により、県民気運の醸成及び普及啓発のためのイベント参加人数は目標値を達成した。											
要因分析											
類型	説明										
⑤ 周知・啓発不足等	沖縄空手のユネスコ無形文化遺産登録に向け、沖縄空手関連イベントの開催による相乗効果により、県民の機運醸成や普及啓発に向けたイベント参加者数は計画通り進捗している。										
⑥ その他個別要因	沖縄空手のユネスコ無形文化遺産登録に向けて、沖縄空手の学術研究をさらに深めていき、県民向け周知を図るとともに、沖縄空手だけではなく、琉球料理等食文化などの分野とも連携した県民の機運醸成のほか、効果的な取組について検討する必要がある。										
対応案											
沖縄空手のユネスコ無形文化遺産登録に向けて、引き続き、沖縄空手関連イベントの開催による相乗効果を図るとともに、沖縄空手の学術研究を深めていき、空手が生活文化に浸透している実態について県民向けに周知し、沖縄空手だけではなく、琉球料理等食文化などの分野とも連携した効果的な取組について検討する。											

(様式3) 「成果指標」検証票

関連する主な取組					
施策番号	1-(4)-ウ-④	主な取組名	沖縄空手に関する資料収集・調査研究	対応課	空手振興課
成果指標への寄与の状況	資料収集・調査研究を行うことで博物館相当施設としての機能が充実し、沖縄空手のユネスコ無形文化遺産の登録に対する県民の気運醸成やシンポジウム等のイベント参加へ寄与している。				
要因分析	沖縄空手会館において開館時より常設展を行っているが、沖縄空手の資料収集・調査研究の新たな成果が反映されてないことから、県民気運の醸成やイベント参加への拡大に繋がっていない。				
対応案	資料収集・調査研究の成果を各種展示（常設展、企画展、巡回展、ロビー展）へ積極的に反映させ、沖縄空手のユネスコ無形文化遺産の登録に対する県民気運の醸成及び関連する各種イベントへの参加拡大につなげる。				
関連する主な取組					
施策番号	1-(4)-ウ-④	主な取組名	沖縄空手会館の収蔵資料整理	対応課	空手振興課
成果指標への寄与の状況	収蔵資料の整理を行うことで博物館相当施設としての機能が充実し、沖縄空手のユネスコ無形文化遺産の登録に対する県民気運の醸成及びシンポジウム等のイベントへの参加へ寄与している。				
要因分析	沖縄空手会館において開館時より常設展を行っているが、新たな収蔵資料が反映されてないことから、沖縄空手のユネスコ無形文化遺産の登録に対する県民気運の醸成及び各種イベント参加への拡大に繋がっていない。				
対応案	新たな収蔵資料の整理した成果を各種展示（常設展、企画展、巡回展、ロビー展）へ積極的に反映し、沖縄空手のユネスコ無形文化遺産登録に対する県民気運の醸成及び関連する各種イベントへの参加に拡大に繋げる。				

(様式3) 「成果指標」検証票

関連する主な取組					
施策番号	1-(4)-ウ-④	主な取組名	調査研究の実施	対応課	空手振興課
成果指標への 寄与の状況	沖縄空手のユネスコ無形文化遺産登録を目指すため、空手が生活文化に浸透している実態を民俗学的観点から悉皆調査に係る補足調査を実施し、調査報告書を作成した。調査の実施により、県民機運の醸成に寄与するものと考えられる。				
要因分析	調査の結果、空手や棒術が沖縄の地域社会や県民生活と密接な関わりがあることが示され、県民気運の醸成に繋がったものと考えられる。				
対応案	ユネスコ無形文化遺産登録に向けた機運醸成を図るため、シンポジウム等を開催し、昨年度までにとりまとめた調査結果報告書等を広く県民に周知等を行うほか、琉球舞踊など他分野と連携して、登録を目指す。				
関連する主な取組					
施策番号	1-(4)-ウ-④	主な取組名	県民等の気運醸成	対応課	空手振興課
成果指標への 寄与の状況	沖縄空手に関する関連イベントの開催等を通じて、ユネスコ無形文化遺産登録に向けた機運醸成や普及啓発を図った。				
要因分析	沖縄空手関連イベントの実施件数は目標値（3件）を達成しており、参加人数増加につながる効果が得られているものと考えている。				
対応案	沖縄空手について、他分野とも連携を図りながら、情報発信を強化するなどして、ユネスコ無形文化遺産登録に向けた普及啓発と機運醸成に、引き続き取り組んでいく。				

成果指標 検証票

施策名	3-(1)-イ-②		観光産業と多様な産業との連携							
成果指標名			単位	基準値	実績値			目標値 R6年度	達成率	達成状況
					R4	R5	R6			
一人当たり観光消費額（土産・買物費、 飲食費） （一人当たり観光消費額（土産・買物 費））			円	17,702	18,078	18,078	19,642	19,462	110.2%	目標達成
						R4実績仮 登録	R5実績仮 登録			
					計画値					
					18,288	18,876	19,462			
成果指標名			単位	基準値	実績値			目標値 R6年度	達成率	達成状況
					R4	R5	R6			
一人当たり観光消費額（土産・買物費、 飲食費） （一人当たり観光消費額（飲食費））			円	16,387	20,604	20,604	20,608	18,016	259.1%	目標達成
						R4実績仮 登録	R5実績仮 登録			
					計画値					
					16,929	17,474	18,016			
担当部課名	文化観光スポーツ部観光政策課									
達成状況の説明										
（R6実績については、7月頃に確定予定）県産品の戦略的なマーケティング支援やプロモーション展開、沖縄のソフトパワーを活用した観光メニュー開発、グリーン・ツーリズム実践者の支援・育成などの取組により、一人当たり観光消費額（土産・買物費、飲食費）の向上に繋がった。										

(様式3) 「成果指標」検証票

要因分析					
類型	説明				
① 計画通りの進捗	市場ニーズに対応した食嗜好やパッケージ等の新たなニーズ・課題に対応した県内企業の商品開発、デザイン開発等を促進するとともに、体験交流型観光等の各種ツーリズムの充実強化を図ることで土産・買物費、飲食費の更なる伸長を目指す必要がある。				
対応案					
引き続き、市場ニーズの把握や体験交流型観光等の各種ツーリズムの推進などに取り組むとともに、観光産業と多様な産業との連携に係る各種施策の充実強化に努める。					
関連する主な取組					
施策番号	3-(1)-イ-②	主な取組名	観光統計実態調査	対応課	観光政策課
成果指標への寄与の状況	第6次沖縄県観光振興基本計画の中の施策「観光産業と多様な産業との連携」に係る成果指標の実績値を集計し、所管課に共有することで、観光産業と多様な産業との連携に係る施策の企画・立案を促進した。				
要因分析	県の総合的な施策の効果の一部として標記指標の達成を図っていくものであるが、調査結果が前年度を上回った背景には、コロナ禍後の観光需要の急拡大や円安効果による外国人観光客の県内観光消費額の高止まりが成果指標の達成の一因となったと推測される。				
対応案	引き続き、調査の実施による施策の企画・立案の促進を図る。				

(様式3) 「成果指標」検証票

関連する主な取組					
施策番号	3-(1)-イ-②	主な取組名	観光産業実態調査	対応課	観光政策課
成果指標への寄与の状況	第6次沖縄県観光振興基本計画の中の施策「県産品の利用や地産地消の推進」及び「多様な食文化・食習慣への対応」に係る成果指標の実績値を集計し、ホテル等での地産地消を進める取組や業界に対するセミナーを実施する所管課に共有することで、観光客の飲食費消費額の維持・向上に資する企画立案を促した。				
要因分析	県の総合的な施策の効果の一部として標記指標の達成を図っていくものであるが、飲食費の目標達成には、近年の物価高、人件費高騰及びリベンジ需要等の影響も考慮する必要がある。				
対応案	観光産業実態調査により、観光関連事業者の現状・課題の把握に努めるとともに、観光振興基本計画の各施策の検証等に資する資料を関係課に提供することで、取組の改善や企画・立案の促進につなげる必要がある。				
関連する主な取組					
施策番号	3-(1)-イ-②	主な取組名	稼ぐ県産品支援事業	対応課	グローバルマーケット戦略課
成果指標への寄与の状況	セミナー等のマーケティング支援が事業者の商品力の向上やECビジネスの一助となり、観光客にお土産品の購入してもらうことやECを通しての商品購入に繋がり、一人当たり観光消費額の増加に寄与したと考えられる。				
要因分析	マーケティング支援を実施するにあたり、事業者の商品開発を伴走型で支援したことが一人当たり観光消費額の増加につながったと考えられる。				
対応案	引き続き県産品のプロモーション実施やセミナー等のマーケティング支援、県外商談会への出展支援等、県内事業者に対する総合的な支援に取り組む。				

(様式3) 「成果指標」検証票

関連する主な取組					
施策番号	3-(1)-イ-②	主な取組名	沖縄観光コンテンツ開発支援事業	対応課	観光振興課
成果指標への寄与の状況	沖縄のソフトパワー（歴史、自然、文化等）を活用した観光メニュー開発やMICEメニュー開発を行う民間企業等の自主的な取り組みを11件支援した。				
要因分析	多彩で質の高いコンテンツを開発を自走化させるためには、事業実施主体と地域との連携が必要である。				
対応案	事業実施主体の所在町村、地域観光協会等と連携し、持続可能なコンテンツ開発を行う必要がある。				
関連する主な取組					
施策番号	3-(1)-イ-②	主な取組名	グリーン・ツーリズムの推進	対応課	村づくり計画課
成果指標への寄与の状況	農山漁村と都市との交流を促進するグリーン・ツーリズム実践者の育成・支援等を行い、観光客の受入れ体制の強化が図られたことで、成果指標へ寄与できた。				
要因分析	グリーン・ツーリズムインストラクター講習会の実施により、体験交流プログラム作成に必要な知識と技術を習得した専門人材が育成された。				
対応案	グリーン・ツーリズムの受入れ体制の強化や高位平準化を図るため、引き続きグリーン・ツーリズム人材育成とフォローアップ支援に取り組む。				

(様式3) 「成果指標」検証票

関連する主な取組					
施策番号	3-(1)-イ-②	主な取組名	漁港施設等の有効活用	対応課	漁港漁場課
成果指標への 寄与の状況	—				
要因分析	—				
対応案	—				

成果指標 検証票

施策名	3-(10)-ウ-①		着地型観光プログラム等の定着						
成果指標名	単位	基準値	実績値			目標値 R6年度	達成率	達成状況	
			R4	R5	R6				
離島地域（宮古圏域、八重山圏域、久米島圏域）の一人当たり観光消費額（八重山）	円	87,249	116,584	116,584	109,846	95,925	260.5%	目標達成	
				（R4年度）	（R5年度）				
			計画値						
			90,138	93,036	95,925				
成果指標名	単位	基準値	実績値			目標値 R6年度	達成率	達成状況	
			R4	R5	R6				
離島地域（宮古圏域、八重山圏域、久米島圏域）の一人当たり観光消費額（宮古）	円	86,891	108,585	108,585	104,120	95,532	199.4%	目標達成	
				（R4年度）	（R5年度）				
			計画値						
			89,768	92,655	95,532				

(様式3) 「成果指標」検証票

成果指標名		単位	基準値	実績値			目標値	達成率	達成状況
				R4	R5	R6	R6年度		
離島地域（宮古圏域、八重山圏域、久米島圏域）の一人当たり観光消費額		円	62,893	76,005	76,005	82,042	69,147	306.2%	目標達成
					(R4年度)	(R5年度)			
				計画値					
				64,976	67,064	69,147			
担当部課名		文化観光スポーツ部観光振興課							
達成状況の説明									
令和6年度実績値は未確定（暫定値を仮入力）であるが、観光客の滞在日数や一人当たり消費額の増加を図るため、関連する主な取組により離島誘客を実施しており、順調に推移することが見込まれる。									
要因分析									
類型		説明							
① 計画通りの進捗		離島誘客を促進することにより、離島への訪問者及び一人あたりの観光消費額の増加を図った。							
対応案									
観光客の増加により発生が想定される観光諸問題の解決や防止に向けて、サステナブルツーリズム推進を図る。県内各地の観光客受け入れの実態を把握するとともに、観光に関連する諸問題の解決のため専門家派遣や相談窓口の設置するなどして地域に根付いた取組を行う。									

(様式3) 「成果指標」検証票

関連する主な取組					
施策番号	3-(10)-ウ-①	主な取組名	離島の魅力ある資源を活かした観光コンテンツの開発	対応課	観光振興課
成果指標への寄与の状況	離島の魅力ある資源を活かした観光コンテンツの開発を4件支援したことにより、離島地域の観光消費額向上に一定程度寄与することができた。				
要因分析	「新・沖縄21世紀ビジョン実施計画」において「離島の魅力ある資源を生かした観光コンテンツの創出」を掲げていることを積極的に発信することにより、観光コンテンツの創出を促し、離島地域における観光消費額の増加に一定程度つながったものと思料する。				
対応案	補助事業を公募する段階で、「離島の魅力ある資源を生かした観光コンテンツの創出」を事例として挙げ、申請を促す。				

成果指標 検証票

施策名	3-(10)-ウ-②		環境に配慮した持続可能な観光の推進							
成果指標名			単位	基準値	実績値			目標値 R6年度	達成率	達成状況
					R4	R5	R6			
離島の持続可能な観光を推進するための 取組が行われていると感じた観光客の割合 (宮古)			%	37.1	37.5	37.5	36.4	50	-5.4%	達成は困難
						R4年度	R5年度			
					計画値					
					41.4	45.7	50			
成果指標名			単位	基準値	実績値			目標値 R6年度	達成率	達成状況
					R4	R5	R6			
離島の持続可能な観光を推進するための 取組が行われていると感じた観光客の割合 (八重山)			%	45.4	47.6	47.6	45	50	-8.7%	達成は困難
						R4年度	R5年度			
					計画値					
					46.9	48.5	50			
成果指標名			単位	基準値	実績値			目標値 R6年度	達成率	達成状況
					R4	R5	R6			
離島の持続可能な観光を推進するための 取組が行われていると感じた観光客の割合 (久米島)			%	31.1	32.5	32.5	32.5	50	7.4%	達成に努める
						R4年度	R5年度			
					計画値					
					37.4	43.7	50			

(様式3) 「成果指標」 検証票

担当部課名	文化観光スポーツ部観光振興課
達成状況の説明	
(R6年度実績値は、R7年7月以降に確定予定。)サステナブルツーリズムは、世界的に浸透してきており、県内でも経済、自然、文化を尊重した観光が意識され、アメニティの削減等、取組は着実に進展している。	
要因分析	
類型	説明
② 関係機関の調整進展	サステナブルツーリズム推進事業では、有識者会議を年3回開催し、沖縄県の目指すサステナブルツーリズムのあり方検討のため、関係者や関係機関との連携を促進した。
⑤ 周知・啓発不足等	沖縄県版サステナブルツーリズムの周知啓発のため、沖縄県の目指すサステナブルツーリズムのあり方の宣言発出を予定していたが、より丁寧な議論が必要となり、周知啓発の取組を令和7年度以降とした。
対応案	
サステナブルツーリズムの取組を推進するため、地域で発生する観光諸課題を解決する必要があるため、補助金事業等、地域にとって必要な支援を実施する。 また、サステナブルツーリズムは概念が幅広く、アメニティの削減等、取組の一部も一般的となっていることから、指標の根拠となる調査では具体的な事例をあげるなど、実際の取組の把握に努める。	

(様式3) 「成果指標」検証票

関連する主な取組					
施策番号	3-(10)-ウ-②	主な取組名	離島市町村における観光地マネジメントの促進	対応課	観光振興課
成果指標への寄与の状況	離島地域との意見交換会を開催し、離島地域における観光地マネジメントに寄与した。				
要因分析	離島地域との意見交換会の開催によって離島地域における持続可能な観光に対する理解が深まり、持続可能な観光を推進する取組への支援につながった。				
対応案	引き続き、離島地域が抱える持続可能な観光に対する課題解決への取組に支援を実施する。				
関連する主な取組					
施策番号	3-(10)-ウ-②	主な取組名	住民生活や自然環境への配慮等に関する周知啓発	対応課	観光振興課
成果指標への寄与の状況	離島振興会議や持続可能な観光地マネジメントについてのセミナーを開催し、離島地域における観光地マネジメントに寄与した。				
要因分析	レスポンシブルツーリズムの取り組みを沖縄県全体に普及することで、地域住民の生活や自然環境の保全が図られる。				
対応案	地域毎のレスポンシブルツーリズムの取り組みを促進するため、市町村や観光協会等との連携を強化する必要がある。				

成果指標 検証票

施策名	3-(12)-イ-②	国際路線の拡充に向けた取組強化									
成果指標名	単位	基準値	実績値			目標値 R6年度	達成率	達成状況			
			R4	R5	R6						
那覇空港の国際路線数（就航都市数）	路線	0	3	8	13	15	86.7%	目標達成の見込み			
			計画値								
			5	10	15						
担当部課名	文化観光スポーツ部観光振興課										
達成状況の説明											
那覇空港国際線は令和4年度に約2年5か月ぶりに路線が再開。令和6年度の運航状況は13路線（台北、台中、高雄、仁川、釜山、香港、北京、上海、福州、クアラルンプール、シンガポール、バンコク、下地島）、22社運航となり、令和6年（暦年）の外国人観光客は184万5,700人となった。											
要因分析											
類型	説明										
⑥ その他個別要因	コロナ禍以前に那覇空港に就航し、かつ、運航を再開した航空会社に対し、那覇空港国際線の路線再開を促進するためのインセンティブとして支援を実施した。										
対応案											
空港の受入体制の整備に向けて他部局と連携して取り組み、那覇空港の路線の更なる回復を図る必要がある。											

(様式3) 「成果指標」検証票

関連する主な取組					
施策番号	3-(12)-イ-②	主な取組名	新規就航定期便等への支援	対応課	観光振興課
成果指標への寄与の状況	新規就航に際し、共同広告やハンドリング支援などを行うことで路線の安定化にもつながっている。				
要因分析	コロナ禍後就航数に関しては、いまだに戻ってきていない要因として、中国路線の遅れが生じている。ビザなどの外部的要因が影響した。				
対応案	ビザの緩和を行い、今後中国路線の回復も見込まれる。				
関連する主な取組					
施策番号	3-(12)-イ-②	主な取組名	各市場での誘客プロモーションの展開	対応課	観光振興課
成果指標への寄与の状況	委託事業者および県海外事務所と連携を図りながら、国際線の路線回復に向けた取組とともに海外個人旅行者の受入再開後を見据えたプロモーション活動を実施した結果、那覇空港の国際路線数の増加に寄与した。				
要因分析	国際線の再開に合わせて適切な市場プロモーションを実施したことで、路線回復の促進につながった。				
対応案	運休が継続している路線の回復および安定化に向けて、沖縄観光の需要を喚起するための市場プロモーションを継続して実施する必要がある。				

(様式3) 「成果指標」検証票

関連する主な取組					
施策番号	3-(12)-イ-②	主な取組名	国際旅客ハブの形成	対応課	観光振興課
成果指標への寄与の状況	欧米豪からの誘客に取組にあたり、旅行博への出展を行い、仁川空港などの世界的ハブ空港などを活用した誘客を行った。特に仁川国際空港は、就航便数の増大や欧米からの誘客を目的としてMOUを締結するなど、今後も相互の送客で路線の安定化や増便を行う。				
要因分析	旅行博での出展で、沖縄へのPRはもちろん、主要空港との結びつきもあることを強みでもある。また、仁川路線はコロナ禍前から倍以上に増えるなど、誘客の他、相互でのハブ空港強みを生かしていることが考えられる。				
対応案	今後も、近隣の国際ハブ空港との連携を強化する。				
関連する主な取組					
施策番号	3-(12)-イ-②	主な取組名	CIQの常設化及び運営体制の強化	対応課	観光振興課
成果指標への寄与の状況	離島空港国際線旅客数は、令和5年度では1,362人であり、令和6年度は約65,368人と前年度の約48倍と推移した。また、CIQ運営体制の強化をしたことで訪日外国人観光客が安心して入国でき、国際便の路線拡大に寄与したと考えられる。				
要因分析	CIQ運営体制の強化により訪日外国人が安心して入国でき、国際便の需要の増加が路線拡大へとつながった。				
対応案	下地島空港のCIQ指定港化を目指し、今後も国際線就航の実績を積み重ねていくほか、関係機関との連携、調整をする。				

成果指標 検証票

施策名	3-(2)-ア-①	「安全・安心の島」の構築に向けた受入体制等の整備									
成果指標名	単位	基準値	実績値			目標値 R6年度	達成率	達成状況			
			R4	R5	R6						
観光客が「沖縄は安全・安心であると感じる」割合	%	91.8	90	90	90	91.8	0%	達成は困難			
				(R4年度)	(R5年度)						
			計画値								
			91.8	91.8	91.8						
担当部課名	文化観光スポーツ部観光振興課										
達成状況の説明											
令和6年度の実績値は未確定であるが、観光客の安全・安心につながる観光危機関連施策に継続して取り組んでおり、順調に推移することが見込まれる。											
要因分析											
類型	説明										
① 計画通りの進捗	観光危機関連施策を継続して実施していることが、間接的に観光客の安全・安心感に繋がっていると考えられる										
対応案											
引き続き、市町村説明会を通じた観光危機管理計画策定支援を行っていく等、観光危機管理施策を展開することにより、観光客に安全・安心な沖縄観光の形成に努めていくほか、ICTを活用した観光危機情報の収集・発信を強化することにより、一層の観光客の安全・安心に繋げていく。											

(様式3) 「成果指標」検証票

関連する主な取組					
施策番号	3-(2)-ア-①	主な取組名	市町村における観光危機管理計画策定支援	対応課	観光振興課
成果指標への寄与の状況	勉強会や専門家派遣、アンケート調査等を実施し、観光危機管理計画未策定の市町村に対する機運醸成・策定支援に務めることにより、観光客が「沖縄は安全・安心であると感じる」割合の増加に寄与するものと考えている。				
要因分析	市町村勉強会を通じて、計画策定に向けた機運は向上している。				
対応案	勉強会や専門家派遣、アンケート調査等を実施し、観光危機管理計画未策定の市町村の支援に努める。				
関連する主な取組					
施策番号	3-(2)-ア-①	主な取組名	観光関連団体との観光危機管理・対応に関する協定の締結	対応課	観光振興課
成果指標への寄与の状況	観光関連団体を含めて協定締結の必要性、内容等について検討を行ったことにより、観光客が「沖縄は安全・安心であると感じる」割合の増加に寄与するものと考えている。				
要因分析	帰宅支援等に備えた訓練を通じて、協定締結に向けた取り組みを行う。				
対応案	初動対応、帰宅支援等に向けた訓練を実施する。				

(様式3) 「成果指標」検証票

関連する主な取組					
施策番号	3-(2)-ア-①	主な取組名	ICTを活用した観光危機情報の収集・発信	対応課	観光振興課
成果指標への寄与の状況	ICTを活用した観光危機情報の収集・発信に取り組んだことが、観光客が「沖縄は安全・安心であると感じる」割合を高い水準を維持することにつながった。				
要因分析	主な取組の一環である、自治体間を繋ぐLoGoチャット組織において災害時における観光客向けの情報を発信している。参加自治体の増加により、多くの自治体へ当該情報を届けられるようになり、行政による観光客への情報発信体制を整備できたため。				
対応案	より多くの観光客が「沖縄は安全・安心であると感じる」ことができるよう、引き続き、当該組織未参加の自治体の参加を促していく。				
関連する主な取組					
施策番号	3-(2)-ア-①	主な取組名	外国人観光客の傷病時等における多言語対応	対応課	観光振興課
成果指標への寄与の状況	タブレットを配布することで、急な病気やケガにより来院したインバウンドの対応をスムーズに実施することができたと考える。				
要因分析	英語や中国語、韓国語等をはじめとした複数の言語に対応できるコールセンターを設置することで、スムーズに対応できた。 また、タブレットを離島を含むいくつかの医療機関に設置した。				
対応案	タブレットの設置に伴い、操作方法等を周知する必要もある。 定期的に各医療機関とコミュニケーションをとり、サポートする必要がある。				

成果指標 検証票

施策名	3-(2)-ア-②		快適で魅力ある観光まちづくりの推進							
成果指標名			単位	基準値	実績値			目標値 R6年度	達成率	達成状況
					R4	R5	R6			
リピーター率 (国内客)			%	86.2	87.8	87.8	86.5	90	7.9%	達成に努める
						(R4年度)	(R5年度)			
					計画値					
					87.5	88.7	90			
成果指標名			単位	基準値	実績値			目標値 R6年度	達成率	達成状況
					R4	R5	R6			
リピーター率 (外国客)			%	29	36.2	36.2	31.7	29	達成	目標達成
						(R4年度)	(R5年度)			
					計画値					
					29	29	29			
担当部課名	文化観光スポーツ部観光政策課									
達成状況の説明										
国内客リピーター率は目標値を達成できなかったが、国外客については目標達成となった。令和6年度の実績値は未確定であるが、新型コロナウイルス感染症による影響からの回復や円安に伴う外国人観光客の増加及び関連する主な取組により、国内客及び外国客のリピーター率は順調に推移することが見込まれる。										

(様式3) 「成果指標」検証票

要因分析					
類型	説明				
⑫ 社会経済情勢	コロナ禍を経て観光客数が回復した事や円安に伴う外国人観光客の増加等が、リピーター率の向上に繋がった。				
対応案					
引き続き、国際的な観光地にふさわしい観光まちづくりや観光客のニーズに合わせた情報の提供、地域観光の課題解決に取り組むことで快適な沖縄観光を推進し、リピーター率の向上を図る。					
関連する主な取組					
施策番号	3-(2)-ア-②	主な取組名	東部海浜開発事業の推進	対応課	港湾課
成果指標への寄与の状況	スポーツコンベンション拠点、ビーチフロント観光の形成に向け、港湾施設整備を行うことで、リピーター率の向上に寄与する。				
要因分析	地元の沖縄市等から早期整備の強い要望があり、事業を円滑に推進する必要がある。				
対応案	効率的な工程計画により整備を推進し、国や沖縄市と連携して、早期整備、部分使用等の検討を引き続き行う。				

(様式3) 「成果指標」検証票

関連する主な取組					
施策番号	3-(2)-ア-②	主な取組名	地域観光の支援	対応課	観光振興課
成果指標への寄与の状況	観光まちづくりアドバイザー派遣事業の周知の時期を早め、利用しやすい環境を作ったことで利用促進がなされ、地域観光支援に寄与した。				
要因分析	オンラインミーティングの活用、出張時などの効率的な訪問計画などにより、離島を含めた遠方の地域に対しても意見交換を行うことができた。				
対応案	引き続き利用者が活用しやすい環境を整え、地域への支援を実施していく。				
関連する主な取組					
施策番号	3-(2)-ア-②	主な取組名	観光案内所運営事業	対応課	観光振興課
成果指標への寄与の状況	那覇空港国内線・国際線観光案内所および沖縄観光情報センターにおいて、交通情報や地域の観光情報等を多言語で提供することにより、観光客の満足度を高め、リピート率の向上に寄与する。				
要因分析	沖縄都市モノレール、船舶会社（県外・離島航路）、バス協会、税関、入国管理局、観光施設、OCVB等と連携し、最新の観光情報を提供できる体制を整え、観光客の満足度の向上によるリピーター率の向上を目指した結果、外国人観光客に対しては、安全安心を確保するための災害情報をプッシュ型で通知する多言語災害情報アプリ Safety Tipsの周知広報に繋げることができた。				
対応案	引き続き、バス協会や観光施設、OCVB、地域の観光協会と連携し、満足度の向上に寄与する。				

(様式3) 「成果指標」検証票

関連する主な取組					
施策番号	3-(2)-ア-②	主な取組名	Be. Okinawa多言語コンタクトセンター	対応課	観光振興課
成果指標への寄与の状況	外国人観光客への県内情報、旅程相談、観光案内、通訳サービス、台風などの災害時の対応サポート等の機能を、「観光案内所」と統合してサービス提供することにより、外国人観光客が安全安心に観光を楽しめる受入環境が構築されるとともに、域内周遊が促進し、観光収消費額や平均滞在日数、顧客満足度の向上やリピーターの獲得につながる。				
要因分析	Be. Okinawa多言語コンタクトセンターを観光案内所と統合して設置・運営することで、観光案内や通訳サービス、台風などの災害対応サポート等のサポートを継続的に実施できた。 上記サポートにより、外国人観光客が安全安心に観光を楽しめる受入環境が構築されるとともに、域内周遊が促進し、観光収消費額や平均滞在日数、顧客満足度の向上やリピーターの獲得につながったものと思料する。				
対応案	英語、中国語（簡・繁）、韓国語、タイ語にて、電話（ナビダイヤル、web電話、）メール、チャット（有人対応）各種SNS、チャットボット（自動応答）のチャネルを活用し、外国人観光客に対し情報提供や通訳サポートを行う。 webサイトからの県内情報、よくある問い合わせFAQを発信し、外国人観光客の県内周遊サポートを行う。				

成果指標 検証票

施策名	3-(2)-ア-③	多様な受入環境の整備									
成果指標名	単位	基準値	実績値			目標値 R6年度	達成率	達成状況			
			R4	R5	R6						
心のバリアフリー認定件数（累計） LGBTQに対する受入環境整備に取り組む施設割合 （心のバリアフリー認定件数（累計））	件	6	6	17	13	30	達成	目標達成			
			計画値								
			14	22	30						
成果指標名	単位	基準値	実績値			目標値 R6年度	達成率	達成状況			
			R4	R5	R6						
心のバリアフリー認定件数（累計） LGBTQに対する受入環境整備に取り組む施設割合 （LGBTQに対する受入環境整備に取り組む施設割合）	%	3.9	4.1	14.3	5	5	100.0%	目標達成			
			計画値								
			4.3	4.6	5						
担当部課名	文化観光スポーツ部観光振興課										
達成状況の説明											
観光庁が創設した「心のバリアフリー認定制度」について、県内の観光関連事業者に浸透し始め、引き続き周知啓発を図っていく必要がある。 LGBTQに対する受入環境整備については、ほぼ計画通りに進んでおり、引き続きLGBTQ関連のセミナーを実施するなど、受入環境整備の強化に努める。											
要因分析											
類型	説明										
② 関係機関の調整進展	観光庁が創設した「心のバリアフリー認定制度」について、観光事業者等を対象としたセミナーの開催、アドバイザー派遣を行ったことで、令和6年度目標の達成に繋がったが、引き続き、同制度の周知啓発を図り、同制度における認定を促進する必要がある。										

(様式3) 「成果指標」検証票

① 計画通りの進捗	LGBTQに対する受入環境整備に取り組む施設割合については、ほぼ計画通りに進んでおり、引き続きLGBTQ関連のセミナーを実施するなど、受入環境整備の強化に努める。				
対応案					
ユニバーサルツーリズムに係るセミナー等で、同制度の周知啓発を図るとともに、認定に向けたサポートを実施する。					
関連する主な取組					
施策番号	3-(2)-ア-③	主な取組名	ユニバーサルツーリズムの推進	対応課	観光振興課
成果指標への寄与の状況	観光事業者向けのセミナー及びアドバイザー派遣において、「心のバリアフリー」認定制度の周知啓発を図っており、一定程度寄与していると考える。				
要因分析	「心のバリアフリー」認定制度について認識はしてはいるが、認定されるまで時間がかかるなど認定に至っていないケースがあった。				
対応案	セミナー及びアドバイザー派遣等を受講した観光関連事業者に対し、申請についてもサポートすることとする。				
関連する主な取組					
施策番号	3-(2)-ア-③	主な取組名	観光客向けの情報発信の強化	対応課	観光振興課
成果指標への寄与の状況	ポータルサイトにおいて、「心のバリアフリー」認定制度にかかる周知啓発を行っており、一定程度寄与していると考える。				
要因分析	「心のバリアフリー」認定制度について認識はしてはいるが、認定されるまで時間がかかるなど認定に至っていないケースがあった。				
対応案	セミナー及びアドバイザー派遣等を受講した観光関連事業者に対し、申請についてもサポートすることとする。				

(様式3) 「成果指標」検証票

関連する主な取組					
施策番号	3-(2)-ア-③	主な取組名	ユニバーサルデザインの推進	対応課	観光振興課
成果指標への寄与の状況	観光事業者向けのセミナー及びアドバイザー派遣において、「心のバリアフリー」認定制度の周知啓発を図っており、一定程度寄与していると考え。				
要因分析	「心のバリアフリー」認定制度について認識はしてはいるが、認定されるまで時間がかかるなど認定に至っていないケースがあった。				
対応案	セミナー及びアドバイザー派遣等を受講した観光関連事業者に対し、申請についてもサポートすることとする。				
関連する主な取組					
施策番号	3-(2)-ア-③	主な取組名	県民のホスピタリティ向上	対応課	観光振興課
成果指標への寄与の状況	観光事業者向けのセミナー及びアドバイザー派遣において、「心のバリアフリー」認定制度の周知啓発を図っており、一定程度寄与していると考え。				
要因分析	「心のバリアフリー」認定制度について認識はしてはいるが、認定されるまで時間がかかるなど認定に至っていないケースがあった。				
対応案	セミナー及びアドバイザー派遣等を受講した観光関連事業者に対し、観光庁への申請についてもサポートすることとする。				

成果指標 検証票

施策名	3-(2)-イ-①	サステナブル・ツーリズムの推進									
成果指標名	単位	基準値	実績値			目標値 R6年度	達成率	達成状況			
			R4	R5	R6						
持続可能な観光を推進するための取組が行われていると感じた観光客の割合	%	40.7	42.2	42.2	40.3	50	-4.3%	達成は困難			
				(R4年度)	(R5年度)						
			計画値								
			43.8	46.9	50						
担当部課名	文化観光スポーツ部観光振興課										
達成状況の説明											
(R6年度実績値は、R7年7月以降に確定予定。) サステナブルツーリズムは、世界的に浸透してきており、県内でも経済、自然、文化を尊重した観光が意識され、アメニティの削減等、取組は着実に進展している。											
要因分析											
類型	説明										
② 関係機関の調整進展	サステナブルツーリズム推進事業では、有識者会議を年3回開催し、沖縄県の目指すサステナブルツーリズムのあり方検討のため、関係者や関係機関との連携を促進した。										
⑤ 周知・啓発不足等	沖縄県版サステナブルツーリズムの周知啓発のため、沖縄県の目指すサステナブルツーリズムのあり方の宣言発出を予定していたが、より丁寧な議論が必要となり、周知啓発の取組を令和7年度以降とした。										
対応案											
サステナブルツーリズムの取組を推進するため、地域で発生する観光諸課題を解決する必要があるため、補助金事業等、地域にとって必要な支援を実施する。 また、サステナブルツーリズムは概念が幅広く、アメニティの削減やフードロス等、取組の一部も一般的となっていることから、指標の根拠となる調査では具体的な事例をあげるなど、実際の取組の把握に努める。											

(様式3) 「成果指標」検証票

関連する主な取組					
施策番号	3-(2)-イ-①	主な取組名	沖縄観光に関する県民意識調査	対応課	観光政策課
成果指標への 寄与の状況	沖縄観光に関する県民意識調査の実施により成果指標を測定するとともに、サステナブル・ツーリズムの推進に係る施策の企画・立案を促進した。				
要因分析	調査の実施による施策の企画・立案の促進を通して、サステナブル・ツーリズムの推進に寄与した。				
対応案	これまでの調査結果では、地域ごとの差異など実態の分析に優位なデータが得られることから、調査結果及び調査の過程で得られた基礎データ等について関係課へ共有して施策の企画立案を促す。				
関連する主な取組					
施策番号	3-(2)-イ-①	主な取組名	観光統計実態調査	対応課	観光政策課
成果指標への 寄与の状況	観光統計実態調査の設問の中に、立ち寄り先等で持続可能な観光を推進するための取組が行われると感じられるか等についての設問を設け、その結果を報告書の中で公表することでサステナブル・ツーリズムの推進に寄与した。				
要因分析	調査の実施による施策の企画・立案の促進を通して、サステナブル・ツーリズムの推進に寄与した。				
対応案	引き続き、調査の実施による施策の企画・立案の促進を図る。				

(様式3) 「成果指標」検証票

関連する主な取組					
施策番号	3-(2)-イ-①	主な取組名	観光産業実態調査	対応課	観光政策課
成果指標への寄与の状況	第6次沖縄県観光振興基本計画の中の施策「体験等サービスにおけるユニバーサルデザインの推進」、「食品ロス削減の推進」等に係る成果指標の実績値を集計し、業界に対する普及啓発事業やセミナーを実施する所管課に共有することで、持続可能な観光の推進に資する企画立案を促した。				
要因分析	県の総合的な施策の効果の一部として標記指標の達成を図っていくものであるが、調査結果が前年度を下回った背景には、コロナ禍後の観光需要の急拡大によって、観光客のニーズを十分満たせなかった可能性がある。				
対応案	観光産業実態調査により、観光関連事業者の現状・課題の把握に努めるとともに、観光振興基本計画の各施策の検証等に資する資料を関係課に提供することで、取組の改善や企画・立案の促進につなげる必要がある。				

成果指標 検証票

施策名	3-(2)-イ-②	持続可能な観光指標の設定と観光地マネジメント									
成果指標名	単位	基準値	実績値			目標値 R6年度	達成率	達成状況			
			R4	R5	R6						
各市町村の観光基本計画において独自のKPIを設定した市町村数（累計）	市町村	17	18	21	25	25	100.0%	目標達成			
			計画値								
			20	22	25						
担当部課名	文化観光スポーツ部観光振興課										
達成状況の説明											
各市町村の観光基本計画において独自のKPIを設定した市町村数（累計） が25市町村になっており、当初の目標を達成した。											
要因分析											
類型	説明										
① 計画通りの進捗	「世界から選ばれる持続可能な観光地」の形成に向け各施策の着実な推進を図るとともに、各地域への説明会の実施により各地域における観光地マネジメントの促進及び情報共有を図ることができた。										
対応案											
世界から選ばれる持続可能な観光地の形成のため、各地域における観光地マネジメントの促進及び情報共有を図るため、市町村や観光関連団体と観光振興に関する課題やその対応策の共有を図る。											

(様式3) 「成果指標」検証票

関連する主な取組					
施策番号	3-(2)-イ-②	主な取組名	沖縄観光推進ロードマップ実施事業	対応課	観光政策課
成果指標への 寄与の状況	令和6年度は、国や観光関連団体等で構成する会議における検証など令和5年度を対象としたPDCAを実施したほか、ロードマップやPDCA実施結果について市町村や観光関連団体向けの説明会を圏域別に実施した。				
要因分析	成果指標を用いた施策効果の検証や各施策に係る取組の進捗確認を行うPDCAを実施することにより、「世界から選ばれる持続可能な観光地」の形成に向け各施策の着実な推進を図るとともに、説明会の実施により各地域における観光地マネジメントの促進及び情報共有を図ることができた。				
対応案	各地域における観光地マネジメントの促進及び情報共有を図るため、市町村や観光関連団体と観光振興に関する課題やその対応策の共有を図る。				
関連する主な取組					
施策番号	3-(2)-イ-②	主な取組名	市町村における観光地マネジメントの促進	対応課	観光振興課
成果指標への 寄与の状況	市町村との意見交換会や情報提供を継続的に実施することで、市町村における持続可能な観光地マネジメントや、各市町村による観光基本計画における独自のKPI設定に寄与した。				
要因分析	市町村との意見交換会や情報提供の実施により、市町村による観光地マネジメントの意識の醸成や、観光基本計画における独自のKPI設定に寄与したと考えられる。				
対応案	市町村における観光地マネジメントを円滑に進められるよう、引き続き市町村との意見交換会や情報提供を進めていく。				

(様式3) 「成果指標」検証票

関連する主な取組					
施策番号	3-(2)-イ-②	主な取組名	観光地の混雑解消・分散化・平準化	対応課	観光政策課
成果指標への寄与の状況	沖縄観光快適Navi「おきめぐり」webサイトにおいて、県内33カ所の観光スポットにおける過去の人流データを元に観光スポット周辺の人の流れをAIで予測し地図で表示を行うことで観光客の混雑解消・分散化・平準化の手法構築に寄与した。				
要因分析	沖縄観光快適Navi「おきめぐり」webサイトに掲載されている、観光快適度マップから観光地の混雑予測情報を取得することで、旅行計画等において訪問日や訪問時間の調整を行うことができ、観光客の分散化に繋がる。				
対応案	沖縄観光快適Navi「おきめぐり」webサイトについて掲載データの更新やコンテンツの充実・強化を図る				

成果指標 検証票

施策名	3-(2)-ウ-①	沖縄のソフトパワーを生かしたツーリズムの推進									
成果指標名	単位	基準値	実績値			目標値 R6年度	達成率	達成状況			
			R4	R5	R6						
平均滞在日数	日	3.7	4.25	4.25	4.04	4.21	66.7%	目標達成の見込み			
				(R4年度)	(R5年度)						
			計画値								
			3.87	4.04	4.21						
担当部課名	文化観光スポーツ部観光政策課										
達成状況の説明											
令和6年度の実績値は未確定であるが、平均滞在日数の増加に関連する主な取組を継続的に実施しており、計画値を達成することが見込まれる。											
要因分析											
類型	説明										
⑤ 周知・啓発不足等	滞在日数を増やす取組として「沖縄観光コンテンツ開発支援事業」を実施しており、県内事業者の工夫を凝らした多彩な観光コンテンツが開発されているが、それらのコンテンツの周知が不足しており、観光客に届いていない可能性がある。										
対応案											
滞在日数を増やすきっかけとなる多彩で魅力的な観光コンテンツの観光客認知獲得のため、ツーリズムEXPOジャパン等の観光関係の大型展示会や商談会において周知していく。											

(様式3) 「成果指標」検証票

関連する主な取組					
施策番号	3-(2)-ウ-①	主な取組名	多彩かつ質の高い観光コンテンツの開発	対応課	観光振興課
成果指標への寄与の状況	沖縄のソフトパワー（歴史、自然、文化等）を活用した観光メニュー開発やMICEメニュー開発を行う民間企業等の自主的な取り組みを11件支援し、多彩かつ質の高い観光コンテンツ開発を行うことで平均滞在日数の延伸に一定程度寄与したと考える。				
要因分析	多彩で質の高いコンテンツを開発を自走化させるためには、事業実施主体と地域との連携が必要である。				
対応案	事業実施主体の所在町村、地域観光協会等と連携し、持続可能なコンテンツ開発を行う必要がある。				
関連する主な取組					
施策番号	3-(2)-ウ-①	主な取組名	ウェルネス等に関する観光コンテンツの開発	対応課	観光振興課
成果指標への寄与の状況	沖縄のソフトパワー（歴史、自然、文化等）を活用した観光メニュー開発やMICEメニュー開発を行う民間企業等の自主的な取り組みを11件支援することにより、平均滞在日数の延伸に寄与するものと考えている。				
要因分析	ウェルネス等の観光コンテンツの充実により、多彩で質の高いコンテンツの提供に繋がり、平均滞在日数の延伸に繋がるものとする。また、多彩で質の高いコンテンツを開発を自走化させるためには、事業実施主体と地域との連携が必要である。				
対応案	事業実施主体の所在町村、地域観光協会等と連携し、持続可能なコンテンツ開発を行う必要がある。				

成果指標 検証票

施策名	3-(2)-ウ-②		多様な市場における沖縄観光の価値を訴求する誘客活動の展開							
成果指標名			単位	基準値	実績値			目標値 R6年度	達成率	達成状況
					R4	R5	R6			
国内客及び外国空路客の一人当たり観光消費額 (国内客の一人当たり観光消費額)			円	76,987	103,292	103,292	101,530	85,710	281.4%	目標達成
						(R4年度)	(R5年度)			
					計画値					
					79,892	82,805	85,710			
成果指標名			単位	基準値	実績値			目標値 R6年度	達成率	達成状況
					R4	R5	R6			
国内客及び外国空路客の一人当たり観光消費額 (外国空路客の一人当たり観光消費額)			円	102,528	93,497	93,497	111,605	106,386	235.3%	目標達成
						(R4年度)	(R5年度)			
					計画値					
					103,813	105,101	106,386			
担当部課名	文化観光スポーツ部観光振興課									
達成状況の説明										
○令和6年度実績値は7年度半ばに確定されることから、直近確定値である5年度実績値を6年度実績値に記入した。 ○国内客及び外国空路客ともに令和6年度目標値を上回る実績値となり、目標は達成されている。										

(様式3) 「成果指標」検証票

要因分析					
類型	説明				
① 計画通りの進捗	国内客及び外国空路客ともに潜在的に大きな沖縄観光需要があった中、機を捉えた事業執行が成果達成に貢献した。				
③ 周知・啓発の効果	国内及び海外における沖縄観光プロモーションの取組みにより、国内客及び外国空路客の一人当たり観光消費額の増加につながった。				
対応案					
琉球王国の歴史文化、世界自然遺産構成資産である沖縄島北部及び西表島といった独自性及びストーリー性のある沖縄の素材やコンテンツを積極的に発信・訴求し、新たな体験型消費等を呼び込むことで、国内客及び外国空路客ともに一人当たり観光消費額の更なる増加を目指す。					
関連する主な取組					
施策番号	3-(2)-ウ-②	主な取組名	海外富裕層向けプロモーション事業	対応課	観光振興課
成果指標への寄与の状況	台湾、韓国、香港、中国本土、シンガポール、タイ、マレーシア、英国、フランス、ドイツ、オーストラリア等において各市場特性に応じた戦略的なプロモーションと路線回復の取組を推進したことにより、入域外国人観光客数は皆増となり、国内客及び外国空路客の一人当たり観光消費額の増加に寄与している。				
要因分析	沖縄観光への興味・関心を維持・拡大させる取組が外国人観光客の呼び込みと一定程度の観光消費額に繋がったと考えられる。				
対応案	航空会社や旅行会社に対してセールス活動を強化することにより、新たな需要の創出や既存の需要の安定化を図り、さらなる路線の回復とインバウンドの需要取り込みに繋げる必要がある。				

(様式3) 「成果指標」検証票

関連する主な取組					
施策番号	3-(2)-ウ-②	主な取組名	国内富裕層向けプロモーション事業	対応課	観光振興課
成果指標への寄与の状況	国内旅行需要を取り込むために、イベントプロモーション、航空会社・空港プロモーション、デジタルプロモーション、沖縄観光ブランド化の取組みなど積極的なPR活動を実施したことにより、国内入域観光客数の増加に寄与した。				
要因分析	国内旅行需要が回復基調にあったことから、各種プロモーション活動がニーズにマッチし効果的に機能したといえ、国内入域観光客数と消費額の増加に繋がったと考えられる。				
対応案	引き続き航空会社及び直行便就航地を中心とした地方空港等と連携した誘客プロモーションを強化し、旅行需要回復期における効果的な誘客を実施する。沖縄観光のブランド化に向けた取組を戦略的に実施するほか、富裕層に訴求するプロモーションを継続する。				
関連する主な取組					
施策番号	3-(2)-ウ-②	主な取組名	国内需要安定化事業	対応課	観光振興課
成果指標への寄与の状況	令和6年度の国内客一人当たり消費額は目標値を上回り、令和6年度までの国内誘客プロモーションが成果達成に貢献している。一方、外国空路客の一人当たり消費額とは差がついており、国内客の更なる消費拡大に向けた取り組みの検討余地がある。				
要因分析	沖縄県内での平均泊数について、国外観光客は国内観光客より約1日長い滞在となっているほか、長引く円安傾向により国外観光客の消費行動が活発化している反面、国内観光客の消費が伸び悩んでいる。消費額拡大に寄与する高付加価値旅行商品の選択肢がまだ少ないことも要因と思われる。				
対応案	国外観光客と比較して一人当たり観光消費額が伸び悩む国内観光客に対しては、エシカルトラベル等のテーマ型観光の訴求や、琉球王国の歴史文化、世界自然遺産構成資産である沖縄島北部及び西表島といった独自性及びストーリー性のある素材やコンテンツを積極的に発信・訴求し、新たな体験型消費等を呼び込むことで、一人当たり観光消費額の増加につなげる。				

(様式3) 「成果指標」検証票

関連する主な取組					
施策番号	3-(2)-ウ-②	主な取組名	教育旅行推進強化事業	対応課	観光振興課
成果指標への寄与の状況	国内外からの沖縄への修学旅行を推進することにより、県内消費額の増加に寄与する。				
要因分析	修学旅行の繁忙期に修学旅行の行程や場所、交通手段等の変更を促進しつつ、県内各地の観光コンテンツへの修学旅行生誘致を行う取り組みを実施したことにより、6,271名分の活用があったことから、観光事業者全体への収益機会拡大へとつながった。				
対応案	引き続き、国内外からの沖縄への修学旅行の誘致促進に取り組む。				
関連する主な取組					
施策番号	3-(2)-ウ-②	主な取組名	沖縄観光グローバル事業（海外重点市場）	対応課	観光振興課
成果指標への寄与の状況	台湾、韓国、香港、中国本土、シンガポール、タイ、マレーシア、英国、フランス、ドイツ、オーストラリア等において各市場特性に応じた戦略的なプロモーションと路線回復の取組を推進したことにより、入域外国人観光客数は皆増となり、国内客及び外国空路客の一人当たり観光消費額の増加に寄与している。				
要因分析	沖縄観光への興味・関心を維持・拡大させる取組が外国人観光客の呼び込みと一定程度の観光消費額に繋がったと考えられる。				
対応案	航空会社や旅行会社に対してセールス活動を強化することにより、新たな需要の創出や既存の需要の安定化を図り、さらなる路線の回復とインバウンドの需要取り込みに繋げる必要がある。				

(様式3) 「成果指標」検証票

関連する主な取組					
施策番号	3-(2)-ウ-②	主な取組名	沖縄観光グローバル事業（戦略開拓市場等）	対応課	観光振興課
成果指標への寄与の状況	台湾、韓国、香港、中国本土、シンガポール、タイ、マレーシア、英国、フランス、ドイツ、オーストラリア等において各市場特性に応じた戦略的なプロモーションと路線回復の取組を推進したことにより、入域外国人観光客数は皆増となった。				
要因分析	沖縄観光への興味・関心を維持・拡大させる取組が外国人観光客の呼び込みと一定程度の観光消費額に繋がったと考えられる。				
対応案	航空会社や旅行会社に対してセールス活動を強化することにより、新たな需要の創出や既存の需要の安定化を図り、さらなる路線の回復とインバウンドの需要取り込みに繋げる必要がある。				
関連する主な取組					
施策番号	3-(2)-ウ-②	主な取組名	カップルアニバーサリーツーリズム事業	対応課	観光振興課
成果指標への寄与の状況	国内外から沖縄へのリゾートウエディングを誘致することで、一人当たり観光消費額の増加に寄与している。				
要因分析	特に海外からのリゾートウエディングにおいては、前年度と比べて挙式およびフォトウエディングにかかる費用が増加している。				
対応案	引き続き、国内外から沖縄へのリゾートウエディングの誘致を行う。				

成果指標 検証票

施策名	3-(2)-ウ-③	質の高いクルーズ観光の推進									
成果指標名	単位	基準値	実績値			目標値 R6年度	達成率	達成状況			
			R4	R5	R6						
プレミアム／ラグジュアリークラスのクルーズ船の寄港回数の割合	%	0	100	45	35.5	41.6	85.3%	目標達成の見込み			
			計画値								
			13.9	27.7	41.6						
担当部課名	文化観光スポーツ部観光振興課										
達成状況の説明											
コロナ禍後に本格的に国際クルーズが再開したこともあり、クルーズ全体の寄港回数は増えている。プレミアム・ラグジュアリー船の寄港回数も増えているが、中国からのクルーズ船が本格的に再開したことを受け、総数が増加したことで割合が減少しており、目標値達成に至らなかった。											
要因分析											
類型	説明										
⑮ その他個別要因	中国からクルーズ船（カジュアル船）が本格的に再開し寄港回数全体が増加した。県が掲げる「質の高いクルーズ観光推進」の施策「フライ・アンド・クルーズ」も積極的に誘致し寄港にもつながったが、カジュアル船に分類されるため成果指標には反映されない。										
対応案											
現在の成果指標が「プレミアム／ラグジュアリークラスのクルーズ船の寄港回数の割合」であるが、クルーズの総数によって成果が左右されるため、より施策の成果を把握できるようにラグジュアリー・プレミアムクルーズ、フライ・アンド・クルーズの寄港回数を成果目標に変更する。（令和6年度企画調整課調整済）											

(様式3) 「成果指標」検証票

関連する主な取組					
施策番号	3-(2)-ウ-③	主な取組名	クルーズ船寄港地の形成（中城湾港）	対応課	港湾課
成果指標への寄与の状況	クルーズ船の岸壁予約制限等を改善するため、大型船を西ふ頭から、東ふ頭にシフトさせることを目的として、東ふ頭の岸壁背後地の基本設計を実施した。 東ふ頭に大型船がシフトすることで、西ふ頭に過度な利用率が改善され、クルーズ船が寄港できる機会の増加に繋がる。				
要因分析	西ふ頭において、大型船の寄港が増加して、クルーズ岸壁の予約制限や、貨物の錯綜が生じており、西ふ頭から、東ふ頭に大型船をシフトさせ、大型船の寄港の分散を図る必要がある。 東ふ頭の岸壁整備に向けた設計（国は岸壁、県は岸壁背後地）を進捗させたため、よりよい寄港地の形成に寄与している。				
対応案	国際クルーズ船をスムーズでストレスなく受け入れるためには、中部圏域の受入体制構築を図る必要があるため、地元関係機関との連携強化を図る。				
関連する主な取組					
施策番号	3-(2)-ウ-③	主な取組名	石垣港の整備	対応課	港湾課
成果指標への寄与の状況	石垣港において岸壁等の整備が実施されている。				
要因分析	国において計画的に進捗がなされており、石垣市においても、クルーズ船の受入体制の構築に向けた取組が進捗している。				
対応案	港湾管理者である石垣市において旅客受入施設の整備に向け取り組む。				

(様式3) 「成果指標」検証票

関連する主な取組					
施策番号	3-(2)-ウ-③	主な取組名	クルーズ船の誘致	対応課	観光振興課
成果指標への寄与の状況	プレミアム・ラグジュアリー船へのアプローチとして国際展示商談会などに出展することで、新しい船社や寄港回数は確実に増加している。一方でカジュアル船が多い中国からのクルーズ船が本格的に再開したこともあり、全体でカジュアル船の割合が増加している。				
要因分析	コロナ禍後に本格的に国際クルーズが再開したこともあり、クルーズ全体の寄港回数は増えている。プレミアム・ラグジュアリー船の寄港回数も増えているが、中国からのクルーズ船が本格的に再開したことを受け、総数が増加したことで割合が減少している。				
対応案	現在の成果指標が「プレミアム／ラグジュアリークラスのクルーズ船の寄港回数の割合」であるが、クルーズの総数によって成果が左右されるため、より施策の成果を把握できるようにラグジュアリー・プレミアムクルーズ、フライ・アンド・クルーズの寄港回数を成果目標に変更する。(令和6年度企画調整課調整済)				

成果指標 検証票

施策名	3-(2)-ウ-④		観光消費額向上に資する新たな拠点形成や観光プログラムの創出							
成果指標名			単位	基準値	実績値			目標値 R6年度	達成率	達成状況
					R4	R5	R6			
一人当たり観光消費額（娯楽・入場費）			円	6,647	10,525	10,525	9,071	7,308	366.7%	目標達成
						(R4年度)	(R5年度)			
					計画値					
					6,867	7,088	7,308			
成果指標名			単位	基準値	実績値			目標値 R6年度	達成率	達成状況
					R4	R5	R6			
一人当たり観光消費額（宿泊費）			円	23,398	38,774	38,774	35,984	26,646	387.5%	目標達成
						(R4年度)	(R5年度)			
					計画値					
					24,480	25,564	26,646			
担当部課名	文化観光スポーツ部MICE推進課									
達成状況の説明										
R6の実績値については、8月頃確定予定。										

(様式3) 「成果指標」検証票

要因分析					
類型	説明				
③ 周知・啓発の効果	企業、関係団体、業界等への税制活用の積極的な周知・広報活動等に取り組により、一定の成果が表れた。				
対応案					
引き続き、観光地形成促進地域制度の活用等による民間投資の促進や、多様な観光ニーズに対応した付加価値の高い観光コンテンツの構築等の取組の充実強化に努める。					
関連する主な取組					
施策番号	3-(2)-ウ-④	主な取組名	観光地形成促進地域制度の活用促進	対応課	MICE推進課
成果指標への寄与の状況	同制度の活用促進を図ることで、沖縄観光の高付加価値化に資する観光関連施設の整備を促進し、本県の観光消費額の増額に寄与している。				
要因分析	個別企業や経済団体、関係業界等への積極的な制度周知及びワンストップ窓口の設置による申請手続の負担軽減により申請件数の増が図られることから、沖縄観光の高付加価値化に資する観光関連施設の整備が促進されている。 また、民間による観光関連施設の整備増も影響していると考えられる。				
対応案	沖縄観光の高付加価値化に資する観光関連施設の整備の促進を図るため、企業、関係団体、業界等への税制活用の積極的な周知・広報活動等と、ワンストップ窓口による事業者の申請手続の負担軽減等の取組を継続する。				

(様式3) 「成果指標」検証票

関連する主な取組					
施策番号	3-(2)-ウ-④	主な取組名	民間観光関連施設の投資の促進	対応課	MICE推進課
成果指標への寄与の状況	観光地形成促進地域制度の活用促進を図ることで、沖縄観光の高付加価値化に資する民間観光関連施設の整備を促進し、本県の観光消費額の増額に寄与している。				
要因分析	個別企業や経済団体、関係業界等への積極的な制度周知及びワンストップ窓口の設置による申請手続の負担軽減により申請件数の増が図られることから、沖縄観光の高付加価値化に資する宿泊施設をはじめとする民間観光関連施設の整備が促進されている。				
対応案	沖縄観光の高付加価値化に資する観光関連施設の整備の促進を図るため、企業、関係団体、業界等への税制活用の積極的な周知・広報活動等と、ワンストップ窓口による事業者の申請手続の負担軽減等の取組を継続する。				
関連する主な取組					
施策番号	3-(2)-ウ-④	主な取組名	付加価値の高い観光コンテンツの開発	対応課	観光振興課
成果指標への寄与の状況	沖縄のソフトパワー（歴史、自然、文化等）を活用した観光メニュー開発やMICEメニュー開発を行う民間企業等の自主的な取り組みを11件支援した。				
要因分析	多彩で質の高いコンテンツを開発を自走化させるためには、事業実施主体と地域との連携が必要である。				
対応案	事業実施主体の所在町村、地域観光協会等と連携し、持続可能なコンテンツ開発を行う必要がある。				

成果指標 検証票

施策名	3-(2)-エ-①	ICTによる新たな観光体験の創出促進及び観光施設等における														
成果指標名	単位	基準値	実績値			目標値 R6年度	達成率	達成状況								
			R4	R5	R6											
リアルタイムな情報をオープンデータ化して公開している観光施設数	施設	0	2	3	3	3	100.0%	目標達成								
			計画値													
			1	2	3											
担当部課名	文化観光スポーツ部観光振興課															
達成状況の説明																
3つの観光施設で混雑状況等のリアルタイム情報を発信したことで、目標を達成した。																
要因分析																
類型	説明															
① 計画通りの進捗	関連する主な取組の継続的な実施によって、リアルタイムな情報を公開している観光施設数が増加した。															
対応案																
目標は達成できたものの、観光客が快適に過ごせる観光地の形成に向け、さらなる施設数の増加を目指していく。																

(様式3) 「成果指標」検証票

関連する主な取組					
施策番号	3-(2)-エ-①	主な取組名	新たな技術を活用した観光コンテンツの開発	対応課	観光振興課
成果指標への寄与の状況	新たなデジタル技術を活用した観光コンテンツ開発の支援により、施設におけるオープンデータ化を図ることから、一定程度寄与するものとする。				
要因分析	「新・沖縄21世紀ビジョン実施計画」において「新たなデジタル技術を活用したコンテンツ開発の促進」を掲げていることを積極的に発信したため、リアルタイムな情報をオープンデータ化して公開している観光施設数の増につながったものと考えられる。				
対応案	補助事業を公募する段階で、「新たなデジタル技術を活用した観光メニュー」を事例として挙げ、申請を促す。				
関連する主な取組					
施策番号	3-(2)-エ-①	主な取組名	コンタクトレス決済端末機導入整備事業	対応課	観光振興課
成果指標への寄与の状況	コンタクトレス決済端末機の導入整備を進めたことにより、DX推進に寄与できた。				
要因分析	コンタクトレス決済端末機の導入支援を行ったことによる。				
対応案	引き続き、コンタクトレス化(キャッシュレス化)の普及促進を図る。				

成果指標 検証票

施策名	3-(2)-エ-②	世界のビジネスパーソン等が訪れるワーケーション拠点の形成									
成果指標名	単位	基準値	実績値			目標値 R6年度	達成率	達成状況			
			R4	R5	R6						
ワーケーションを目的とした来県者の割合	%	3.4	1.8	1.8	0	3.7	-633.3%	達成は困難			
				(R4年度)	(R5年度)						
			計画値								
			3.5	3.6	3.7						
担当部課名	文化観光スポーツ部観光振興課										
達成状況の説明											
(※R6実績は7月下旬確定見込み) ワーケーション目的の来県数がR5は108.3千人(R4は121.0千人)、割合がR5は1.5%(R4は1.8%)と減少した一方で、延泊数がR5は597千泊(R4は570千泊)と増加した。滞在型への需要シフトを捉え、目標を延泊数に更新することを検討中。											
要因分析											
類型	説明										
⑮ その他個別要因	モニターツアーのアンケート等から沖縄ワーケーションの課題として他地域に比べて旅費等が高額になることがあげられた。R4実績からR5実績が減となったことについては、高額な旅費が要因のひとつであることが考えられる。(R6実績は未確定)										
対応案											
沖縄でのワーケーション需要は長期滞在型にシフトし始めていると考えられ、R7からは目標値を延泊数に更新し、沖縄ワーケーションならではの余暇時間の過ごし方等を提案するなど効果的なプロモーションを実施する。											

(様式3) 「成果指標」検証票

関連する主な取組					
施策番号	3-(2)-エ-②	主な取組名	デスティネーションとしての沖縄の認知度向上に向けた取組	対応課	観光振興課
成果指標への寄与の状況	ワーケーション目的で来県する観光客数は増加しているが、沖縄に来る観光客数も大きく増加しており、その結果、ワーケーション目的で来県する方の全体に占める割合は小さくなった。				
要因分析	ワーケーション目的で来県する観光客数は増加しているが、県外からの来県者のワーケーション需要を確実にとらえている。しかしながら、観光目的の来県者数が大幅に増えたため、成果目標の達成には至らなかった。				
対応案	ワーケーション目的で来県する観光客数は増加しており、県外からの来県者のワーケーション需要を確実にとらえている。各種プロモーションも効果的に実施できているが、沖縄への観光客の全体数も増加するなか、「割合」以外の新たな成果指標の設定も検討する。				
関連する主な取組					
施策番号	3-(2)-エ-②	主な取組名	企業や個人事業主等に対する誘客の取組	対応課	観光振興課
成果指標への寄与の状況	ワーケーション目的で来県する観光客数は増加しているが、沖縄への全体の観光客数も大きく増加していることで、ワーケーション目的で来県する方の全体に占める割合は小さくなった。				
要因分析	ワーケーション目的で来県する観光客数は増加しており、県外からの来県者のワーケーション需要を確実にとらえている。しかしながら、観光目的の来県者数が大幅に増えたため、成果目標の達成には至らなかった。				
対応案	ワーケーション目的で来県する観光客数は増加しており、県外からの来県者のワーケーション需要を確実にとらえている。各種プロモーションも効果的に実施できているが、沖縄への観光客の全体数も増加するなか、「割合」以外の新たな成果指標の設定も検討する。				

成果指標 検証票

施策名	3-(2)-エ-③	データを活用した戦略的なマーケティングの推進									
成果指標名	単位	基準値	実績値			目標値 R6年度	達成率	達成状況			
			R4	R5	R6						
国内・国外観光客の行動歴・販売データのサンプル件数	件	5,000	62,967	62,967	165,498	31,500	605.7%	目標達成			
				(R4年度)	(R5年度)						
			計画値								
			13,824	22,676	31,500						
担当部課名	文化観光スポーツ部観光政策課										
達成状況の説明											
令和6年度の実績値は未確定であるが、関連する主な取組等によって行動歴・販売データの分析に取り組んだことから、計画値を上回ることが見込まれる。											
要因分析											
類型	説明										
① 計画通りの進捗	各種DX推進施策に取り組んだことが、このような結果に繋がったと考えられるため、引き続き、各種DX推進施策の充実に努めていく必要がある。										
対応案											
引き続き、サンプル件数の確保及び利活用に向けた方策を検討・実施していく。											

(様式3) 「成果指標」検証票

関連する主な取組					
施策番号	3-(2)-エ-③	主な取組名	DX観光客動態調査事業	対応課	観光政策課
成果指標への寄与の状況	携帯電話のGPS位置情報データを利用して、国内観光客の行動歴等を調査分析することでそのニーズを把握し、ターゲットマーケティングの展開に繋げた。				
要因分析	観光消費額の向上や滞在日数の延長につながる観光客の特性に着目した分析を行うことで、戦略的なマーケティングの推進に寄与した。				
対応案	引き続き、観光客の行動歴等を調査分析する。				
関連する主な取組					
施策番号	3-(2)-エ-③	主な取組名	観光客の購買データ利活用	対応課	観光振興課
成果指標への寄与の状況	補助事業が令和4年度で終了したため、令和6年度の実績値に直接の効果はないものの、本事業で作成したキャッシュレス導入に係る成功事例集の作成・周知により行動歴・販売データのサンプル確保に一定の効果はあったと考えられる。				
要因分析	令和4年度での事業終了に伴い、本成果指標に係る実績値には含まれていない。				
対応案	本事業で作成したキャッシュレス導入に係る成功事例集について、県内のキャッシュレス決済端末機を取り扱う事業者より営業ツールの一部として活用していると聞いており、更なる周知活動等も併せて行っていく。				
関連する主な取組					
施策番号	3-(2)-エ-③	主な取組名	観光客の路線バス乗降データの利活用	対応課	観光振興課

(様式3) 「成果指標」検証票

成果指標への 寄与の状況	交通事業者等が実施する観光2次交通の確保に対する補助事業を実施したことにより、バスの乗降データを取得できた。
要因分析	補助事業の実施により、サンプルの確保につながった。
対応案	今後もサンプル確保に努め、購買データの利活用につなげていく。

成果指標 検証票

施策名	3-(2)-エ-④	観光二次交通の利便性向上及び利用促進									
成果指標名	単位	基準値	実績値			目標値 R6年度	達成率	達成状況			
			R4	R5	R6						
旅行中に利用した公共交通機関の割合	%	67.3	78.5	78.5	64.1	70.3	-106.7%	達成は困難			
				(R4年度)	(R5年度)						
			計画値								
			68.3	69.3	70.3						
担当部課名	文化観光スポーツ部観光振興課										
達成状況の説明											
実績値は、令和5年度のものである。レンタカー不足の解消によりレンタカー利用率が大幅に上昇したため、公共交通機関の割合は低下した。											
要因分析											
類型	説明										
⑥ その他個別要因	コロナ禍後、県内ではレンタカー不足が顕著となっていたが、近年ではレンタカー台数もコロナ前を越え増加しており、相対的に公共交通機関の利用は低下した。										
対応案											
那覇空港から観光地や観光地間を結ぶバスの運行に対して補助事業を実施するなど、レンタカーに頼らない交通手段の確保を図る。あわせて那覇空港における「わかりやすいバスのりば」に向けて関係機関・団体との調整を進め、公共交通機関の促進を図る。											
関連する主な取組											

(様式3) 「成果指標」検証票

施策番号	3-(2)-エ-④	主な取組名	県内で実施しているMaaSの観光客への周知	対応課	観光振興課
成果指標への 寄与の状況	「おきなわのりもの旅」(Webサイト)やデジタルサイネージを活用した交通情報を発信したことにより、公共共通機関の利用促進を図った。				
要因分析	「おきなわのりもの旅」(Webサイト)やデジタルサイネージを活用した交通情報を発信したことにより、公共共通機関の利用促進につながったものと考えられる。				
対応案	引き続き、効果的な交通情報を発信する。				

成果指標 検証票

施策名	3-(2)-オ-①	MICE振興とビジネスツーリズムの推進									
成果指標名	単位	基準値	実績値			目標値 R6年度	達成率	達成状況			
			R4	R5	R6						
MICE開催による経済効果（直接効果）	億円	43	249	249	370	604	58.3%	達成に努める			
				(R4年度)	(R5年度)						
			計画値								
			230	417	604						
担当部課名	文化観光スポーツ部MICE推進課										
達成状況の説明											
R5実績については、目標604億円に対し実績370億円と、達成率は58.3%となり、進捗状況は「達成に努める」となった。なお、R6実績については、沖縄県MICE開催実態調査の確定を9月頃に予定している。現在、内容を精査中だが令和5年度を上回るMICE開催の報告数が上がっているため、当該指標についても令和5年度よりも増加することが見込まれる。											
要因分析											
類型	説明										
⑫ 社会経済情勢	MICEのリアル開催が増えてきていることから、開催施設の整備等の受入体制の強化が必要となっている。令和6年度は、新たなホテルや会議施設の開業、整備により、企業や団体等の研修・セミナーを受入可能な施設が増えており、増加が見込まれる。										
対応案											
引き続き、国内外のMICEの誘致に向けて、大学、旅行業者などへの訪問やオンラインの活用などを行うとともにMICEの開催支援や受入体制強化を行い、一年を通して開催時期を分散できるようにMICE件数を平準化しながら増やしていくことを目指す。											

(様式3) 「成果指標」検証票

関連する主な取組					
施策番号	3-(2)-オ-①	主な取組名	OCVB等と連携した国内外での誘致活動強化	対応課	MICE推進課
成果指標への寄与の状況	国内外でのMICE商談会・見本市に参加し、MICE開催誘致に取り組んだことで、MICE開催による経済効果に寄与したと考える。				
要因分析	国内外でのMICE商談会・見本市に参加し、各市場の情報収集やMICE案件の獲得に向けた意見交換等を行い、MICE開催誘致に繋げた。				
対応案	商談会・見本市等を通して、県内のMICE施設やコンテンツにかかる情報を継続的に発信し、更なる経済効果に寄与できるようMICE開催誘致に取り組む。				
関連する主な取組					
施策番号	3-(2)-オ-①	主な取組名	MICE開催実態調査	対応課	MICE推進課
成果指標への寄与の状況	今後のMICE誘致活動及び受入環境整備の基礎資料となる県内におけるMICE開催実態の調査を実施し、その分析結果を踏まえた各種施策の検討・実施により、MICE開催に係る経済効果の増大に寄与できたと考えられる。				
要因分析	開催実態調査資料一式の到着確認架電、締切期日リマインド架電、締切終了後リマインド架電を実施し、必要に応じて離島も含めた直接訪問にて調査への協力依頼を実施した。これにより回答率の向上と調査結果の充実につながり、調査結果を踏まえた各種施策の検討・実施によりMICE開催に係る経済効果の増大につながるものと考えられる。				
対応案	KINTONEを活用し、回答者の負担軽減、データ集計の効率化等を図る。				

(様式3) 「成果指標」検証票

関連する主な取組					
施策番号	3-(2)-オ-①	主な取組名	MICE誘致・開催・歓迎支援の実施（インセンティブ、コンベンション）	対応課	MICE推進課
成果指標への寄与の状況	インセンティブ、コンベンション主催者等への助成、芸能団派遣等の開催歓迎支援など、MICE参加者の満足度を高めるためのサポートを実施により、MICE開催による経済効果の増大に寄与した。				
要因分析	沖縄でのMICE開催時の満足度向上を目的におもてなしメニューの提供を実施し、令和6年度の実績件数は131件（令和5年度：86件、対前年比152%）であった。取組の実施により、MICE開催による経済効果の増大につながったものと考えられる。				
対応案	支援要件を満たしている催事でも拾いきれなかった案件があるため、対象条件人数の変更を広く周知しこれまで拾うことのできなかった案件にも支援を行うことで、沖縄のMICE開催地としての満足度向上に努める。				
関連する主な取組					
施策番号	3-(2)-オ-①	主な取組名	MICE振興にかかる普及啓発活動	対応課	MICE推進課
成果指標への寄与の状況	MICE主催者や旅行社が必要とする情報発信を行い開催誘致に繋げ、MICE開催による経済効果の増大に寄与した。				
要因分析	MICE主催者や旅行社が必要とする情報発信を行い、開催誘致に取り組んだことで、MICE開催による経済効果につながったものとする。				
対応案	沖縄MICE情報Webサイト「おきなわMICEナビ」等を通して、県内のMICE施設やコンテンツにかかる情報等を継続的に発信し、更なる経済効果に寄与できるようMICE開催誘致に取り組む。				

成果指標 検証票

施策名	3-(2)-オ-②	マリンタウンMICEエリアを核とした全県的なMICE受入体制の整備									
成果指標名	単位	基準値	実績値			目標値 R6年度	達成率	達成状況			
			R4	R5	R6						
1,000人以上のMICE開催件数	件	11	70	70	98	193	47.8%	達成に努める			
				(R4年度)	(R5年度)						
			計画値								
			72	132	193						
担当部課名	文化観光スポーツ部MICE推進課										
達成状況の説明											
R6年度実績は、沖縄県MICE開催実態調査の確定が9月頃の予定であるため、令和5年度実績としている。現在、精査中だが令和5年度を上回るMICE開催となっており、開催に伴う経済波及効果（間接効果）も、MICE開催実績増に伴い令和5年度よりも増加することが見込まれる。											
要因分析											
類型	説明										
⑫ 社会経済情勢	新たなホテルや会議施設の開業、整備により、企業や団体等の研修・セミナーを受入可能な施設が増えたことにより、MICE開催件数は増加傾向にある一方で、MICE業界の人材不足やサステナビリティに資する取組が開催地として選ばれる傾向にある。										
対応案											
引き続き、国内外の営業を訪問やオンラインで行うことと合わせて、MICEの開催支援や受入体制強化を行い、一年を通して開催時期を分散できるようにMICE件数を平準化しながら増やしていくことを目指す。											
関連する主な取組											

(様式3) 「成果指標」検証票

施策番号	3-(2)-オ-②	主な取組名	大型MICE施設整備の推進	対応課	MICE推進課
成果指標への 寄与の状況	大型MICE施設を整備することによって、1,000人以上のMICE開催件数の増加に寄与することができる。大型MICE施設の整備に向けた取組を着実に実施している。				
要因分析	PFI法に基づく特定事業の選定を行い、要求水準書、基本協定書（案）契約書（案）等を公表し、入札公告を行った。不調となった後は、事業の検証に係る有識者委員会を開催し、不調等の要因の検証を行うなど再公告に向け取組を進めている。				
対応案	大型MICE施設を中心とした賑わいのあるマリンタウンMICEエリアを形成するため、エリアの特性を生かしたまちづくりを行う必要がある。				
関連する主な取組					
施策番号	3-(2)-オ-②	主な取組名	那覇空港自動車道の整備	対応課	道路街路課
成果指標への 寄与の状況	-				
要因分析	-				
対応案	-				
関連する主な取組					
施策番号	3-(2)-オ-②	主な取組名	沖縄西海岸道路の整備	対応課	道路街路課
成果指標への 寄与の状況	-				

(様式3) 「成果指標」検証票

要因分析	-				
対応案	-				
関連する主な取組					
施策番号	3-(2)-オ-②	主な取組名	ハシゴ道路ネットワークの構築	対応課	道路街路課
成果指標への寄与の状況	-				
要因分析	-				
対応案	-				
関連する主な取組					
施策番号	3-(2)-オ-②	主な取組名	沖縄MICEネットワークを活用した連携強化	対応課	MICE推進課
成果指標への寄与の状況	総会（1回）、幹事会（3回）、勉強会（2回）、MICE産業部会（2回）、サステナビリティ部会（3回）、エリアMICE検討会（3回）、会員交流会としてマッチング交流会（1回）を開催し、機関紙を2回発行し、MICE振興に寄与した。				
要因分析	各部会・検討会等の活動状況内容や取り組みが評価された結果、設定した目標を上回る会員数となり、受入体制強化が図られた。				
対応案	沖縄MICEネットワークのメリットを明確に示し、入会促進につなげていく。				

(様式3) 「成果指標」検証票

関連する主な取組					
施策番号	3-(2)-オ-②	主な取組名	MICE施設の管理・運営	対応課	MICE推進課
成果指標への 寄与の状況	各施設の保全修繕と備品の整備によって、施設のMICE開催能力が高まり、大規模MICEの受け入れが可能となったことは、成果指標「1,000人以上のMICE開催件数」に寄与するものとする。				
要因分析	会議等のイベント開催者にとって、施設の安全性・衛生・美観は重要である。そのため、MICE施設を適切に整備することが、イベント開催者による当該施設の選択を促す結果につながった。				
対応案	引き続き、施設を保全修繕し、備品を整備することで、質の高いMICE受け入れ態勢を維持する。				

成果指標 検証票

施策名	3-(2)-オ-③	MICEを活用した関連産業の振興									
成果指標名	単位	基準値	実績値			目標値 R6年度	達成率	達成状況			
			R4	R5	R6						
MICE開催による経済波及効果（間接効果）	億円	53	296	296	443	744	56.4%	達成に努める			
				(R4年度)	(R5年度)						
			計画値								
			283	514	744						
担当部課名	文化観光スポーツ部MICE推進課										
達成状況の説明											
R6年度実績は、沖縄県MICE開催実態調査の確定が9月頃の予定であるため、令和5年度実績としている。現在、精査中だが令和5年度を上回るMICE開催となっており、開催に伴う経済波及効果（間接効果）も、MICE開催実績増に伴い令和5年度よりも増加することが見込まれる。											
要因分析											
類型	説明										
⑫ 社会経済情勢	新たなホテルや会議施設の開業、整備により、企業や団体等の研修・セミナーを受入可能な施設が増えたことにより、MICE開催件数は増加傾向にある一方で、MICE業界の人材不足やサステナビリティに資する取組が開催地として選ばれる傾向にある。										
対応案											
引き続き、MICE専門人材育成セミナーやMICE専門アドバイザー派遣をMICE関連事業者向けに行い、MICE受入体制強化を図る。											

(様式3) 「成果指標」検証票

関連する主な取組					
施策番号	3-(2)-オ-③	主な取組名	MICE開催にむけた沖縄MICEブランドの構築・県内MICE関連事業者へのSDGsやDXなどの取組の推進	対応課	MICE推進課
成果指標への寄与の状況	県内MICE関連事業者へSDGsやDX等新たな取組を浸透させるため、オンラインセミナー6回、集合型研修2回の研修を実施した。また、専門アドバイザー派遣の申請があった5事業者に派遣を行ったことで、沖縄県におけるMICE受入体制の強化に繋がり、MICE開催による経済波及効果の増大に寄与した。				
要因分析	受講後のアンケート結果より、98%がスキルアップ・能力向上の実感を持ち、92%が業務に活かせる気づきを得ている。 受講者数について、延べ受講者数は目標の240名を越えて、243名であった。				
対応案	多くの方に受講が可能となるよう対象者の間口を広げる。 OMN総会など、幅広い場所で周知を徹底する。				
関連する主な取組					
施策番号	3-(2)-オ-③	主な取組名	企業へのMICEビジネス機会の創出のための支援	対応課	MICE推進課
成果指標への寄与の状況	沖縄MICEセミナー&商談会を開催し、MICE開催誘致に取り組んだことにより、MICE開催による経済波及効果の増大に寄与したものと考えられる。				
要因分析	沖縄MICEセミナー&商談会を開催し、MICE開催誘致に取り組んだことで、MICE開催による経済効果の増大につながった。				
対応案	沖縄MICEセミナー&商談会を通して、MICE関連ビジネスの取組みを促進し、更なる経済効果に寄与できるようMICE開催誘致に取り組む。				

成果指標 検証票

施策名	3-(6)-イ-①	文化芸術に関する産業の創出・振興														
成果指標名	単位	基準値	実績値			目標値 R6年度	達成率	達成状況								
			R4	R5	R6											
文化資源を活用したビジネスの自走化件数（累計）	件	6	6	10	8	10	50.0%	達成に努める								
			計画値													
			7	9	10											
担当部課名	文化観光スポーツ部文化振興課															
達成状況の説明																
令和5年度は比較的規模の小さい事業もあり、より多い事業を採択することができたが、令和6年度は予算の都合上8件となった。しかし、補助事業は内容を吟味して選定しており、より多くの事業者を補助することも大切だが、それ以上に自走化の可能性やコンテンツの影響力、効果も見据えて決定している。																
要因分析																
類型	説明															
⑮ その他個別要因	予算には限りがあるため、本事業の趣旨（コンテンツの創出）を鑑み、補助額の多い新規の事業を継続事業よりも多く採用した結果、件数が減少した。															
対応案																
引き続き、他分野とも共同して周知し、多くの応募者を募ることによって、予算の範囲内でもより安価でより効果的な事業者を選定できるよう努める。																

(様式3) 「成果指標」検証票

関連する主な取組					
施策番号	3-(6)-イ-①	主な取組名	文化資源を活用した沖縄観光の魅力アップに関する取組	対応課	文化振興課
成果指標への寄与の状況	文化体験プログラムを11回実施し、成果指標に寄与した。				
要因分析	派遣報酬の見直しや、事業周知の強化を行い派遣回数が増加したことで成果指標の推進に寄与した。				
対応案	登録団体の募集を強化することでさらに派遣回数を増やしていく。				
関連する主な取組					
施策番号	3-(6)-イ-①	主な取組名	日本遺産普及啓発事業	対応課	文化振興課
成果指標への寄与の状況	Webサイト等を活用し琉球文化日本遺産ストーリーと構成文化財の魅力を県内外に広く発信し、観光資源としての活用を促し、成果指標の目標達成に寄与した。				
要因分析	琉球文化日本遺産ストーリーと構成文化財の魅力を県内外に広く発信することで、観光資源を活用したビジネス化につなげることができたと思慮する。				
対応案	引き続き、琉球文化日本遺産ストーリーと構成文化財の魅力を県内外に広く発信していく。				

(様式3) 「成果指標」検証票

関連する主な取組					
施策番号	3-(6)-イ-①	主な取組名	琉球料理伝承人の育成・フォローアップ	対応課	文化振興課
成果指標への寄与の状況	フォローアップ講座を通じ、琉球料理伝承人のスキルアップを図ったことで、沖縄の伝統的な食文化を核とした観光ビジネスの自走化に寄与した。				
要因分析	琉球料理伝承人に対しフォローアップ講座を実施し、知識及び技能向上を図ったことで、文化資源を活用したビジネスの自走化件数の増加にもつながったものと考えられる。				
対応案	沖縄の伝統的な食文化を核とした観光ビジネスの自走化を支援するため、引き続き、琉球料理伝承人のフォローアップに取り組む。				
関連する主な取組					
施策番号	3-(6)-イ-①	主な取組名	琉球歴史文化コンテンツ創出支援事業	対応課	文化振興課
成果指標への寄与の状況	文化芸術に関わる県内の団体が、琉球の文化資源を活用した新たなコンテンツを制作する取り組みを8件支援(補助)し、成果指標に寄与している。				
要因分析	文化芸術に関わる県内の団体が、琉球の文化資源を活用しコンテンツを制作する取り組みについて、補助事業実施に係るハンズオン支援、自走化に向けたアドバイザーからの助言等を行うことにより、補助事業を円滑に実施することができ、文化資源を活用したビジネスの自走化につながったものと考えている。				
対応案	引き続き、文化資源を活用したビジネスの自走化に向け、団体への各種支援を実施する。				

成果指標 検証票

施策名	3-(6)-イ-②	空手を活用した産業の創出・振興														
成果指標名	単位	基準値	実績値			目標値 R6年度	達成率	達成状況								
			R4	R5	R6											
空手を組み込んだ体験型観光プログラム や商品等の開発件数	件	0	0	3	2	2	100.0%	目標達成								
			計画値													
			1	1	2											
担当部課名	文化観光スポーツ部空手振興課															
達成状況の説明																
成果指標の令和6年度目標値2件に対し、空手ツーリズム商品の造成2件に対する支援を行い、目標値を達成した。																
要因分析																
類型	説明															
① 計画通りの進捗	成果指標は計画通り進捗している。令和7年度も空手ツーリズム商品の造成2件に対する支援を見込んでおり、目標値を達成する予定。															
対応案																
令和7年度も引き続き、空手ツーリズム商品の造成2件に対する支援を行う。また、より多くの観光事業者向けに参画してもらえるよう、事業者向け説明会の開催や関係団体との連携を通して、空手ツーリズム受入体制構築事業の周知を図る。																

(様式3) 「成果指標」検証票

関連する主な取組					
施策番号	3-(6)-イ-②	主な取組名	沖縄空手ガイドの養成	対応課	空手振興課
成果指標への寄与の状況	空手を目的として来訪する団体に対し、空手オリジナルグッズの配布、空手ガイド及び空手オリジナルキャラクター派遣のおもてなし支援を実施し、観光客から空手愛好家まで、幅広い層に対応できる観光商品や関連史跡等を案内できた。				
要因分析	空手ツーリズム商品の造成に対する補助を実施するとともに、空手に関する観光案内窓口を設置し、質の高い空手ツーリズムの環境整備に取り組みにより、沖縄空手の普及・啓発及び空手ガイド等の利用促進に繋がった。				
対応案	大規模な空手イベントの情報発信と併せて、事業者向け説明会の開催や関係団体との連携を図る。				
関連する主な取組					
施策番号	3-(6)-イ-②	主な取組名	他産業と連携した空手関連の商品・コンテンツ制作支援	対応課	空手振興課
成果指標への寄与の状況	沖縄空手を文化資源として活用した空手ツーリズム商品の造成を行うことで、「空手関連産業」という新たな産業の創出を図る。				
要因分析	空手ツーリズム商品の造成に対する補助を実施するとともに、空手に関する観光案内窓口を設置し、質の高い空手ツーリズムの環境整備に取り組みにより、沖縄空手の普及・啓発及び空手ガイド等の利用促進に繋がった。				
対応案	引き続き、事業者向け説明会の開催や関係団体との連携を通して、空手ツーリズム受入体制構築事業の周知を図る。				

成果指標 検証票

施策名	3-(6)-イ-③	eスポーツを活用した新たな展開									
成果指標名	単位	基準値	実績値			目標値 R6年度	達成率	達成状況			
			R4	R5	R6						
大型eスポーツイベント参加者数	人	0	0	0	0	6,000	0%	達成は困難			
			計画値								
			1,998	4,002	6,000						
成果指標名	単位	基準値	実績値			目標値 R6年度	達成率	達成状況			
			R4	R5	R6						
大型eスポーツイベント参加者数	人	0	0	0	0	30,000	0%	達成は困難			
			計画値								
			9,990	20,010	30,000						
担当部課名	文化観光スポーツ部MICE推進課										
達成状況の説明											
令和6年度は国際大会や大型イベントの誘致・定着化に向けた基礎調査を実施したため、県が支援したeスポーツイベントは0件であった。なお、令和7年度では、eスポーツイベント実施の支援事業を予定している。											
要因分析											
類型	説明										
⑮ その他個別要因	令和6年度は国際大会や大型イベントの誘致・定着化に向けた基礎調査を実施したため、県が支援したeスポーツイベントは0件であった。令和7年度では、eスポーツイベント実施の支援事業を予定している。										

(様式3) 「成果指標」検証票

対応案					
県におけるeスポーツイベントの開催支援を含む諸課題の整理及び必要な対応についての検討を踏まえ、令和7年度にeスポーツイベント実施の支援事業を実施する。					
関連する主な取組					
施策番号	3-(6)-イ-③	主な取組名	大型eスポーツイベントの誘致・定着化に向けた調査及び開催支援	対応課	MICE推進課
成果指標への寄与の状況	令和6年度は国際大会や大型イベントの誘致・定着化に向けた基礎調査を実施したため、県が支援したeスポーツイベントは0件であった。なお、令和7年度では、eスポーツイベント実施の支援事業を予定している。				
要因分析	eスポーツの誘致にあたって、県内の施設、設備を把握し、沖縄で開催できる大会について検討するため、令和6年度は国際大会や大型イベントの誘致・定着化に向けた基礎調査を実施した。このため、県が支援したスポーツイベントは0件であった。				
対応案	令和6年度に国際大会や大型イベントの誘致・定着化に向けた調査を実施しており、本県におけるeスポーツイベントの開催支援を含む課題整理や必要な対応の検討を踏まえ、支援の実施につなげる。				

(様式3) 「成果指標」検証票

関連する主な取組					
施策番号	3-(6)-イ-③	主な取組名	新たなビジネスモデルの構築の可能性に係る取組の推進	対応課	MICE推進課
成果指標への寄与の状況	令和6年度は国際大会や大型イベントの誘致・定着化に向けた基礎調査を実施したため、県が支援したeスポーツイベントは0件であった。なお、令和7年度では、eスポーツイベント実施の支援事業を予定している。				
要因分析	eスポーツの誘致にあたって、県内の施設、設備を把握し、沖縄で開催できる大会について検討するため、令和6年度は国際大会や大型イベントの誘致・定着化に向けた基礎調査を実施した。このため、県が支援したスポーツイベントは0件であった。				
対応案	引き続き、eスポーツの国際大会や大規模大会の誘致促進等に資する検討を進め、大会誘致によって得られる効果を高める取組について検討する。				

成果指標 検証票

施策名	3-(6)-イ-④	健康サービス産業の振興														
成果指標名	単位	基準値	実績値			目標値 R6年度	達成率	達成状況								
			R4	R5	R6											
ウェルネスツーリズムを推進する観光コンテンツ開発件数（累計）	件	1	1	0	3	3	100.0%	目標達成								
			計画値													
			2	2	3											
担当部課名	文化観光スポーツ部観光振興課															
達成状況の説明																
今年度は、沖縄ソフトパワー（歴史、自然、文化等）を活用したウェルネス関連のコンテンツ開発の申請が3件あった。民間事業者のウェルネス関連のコンテンツ開発を支援できたことで、健康サービス産業の振興に寄与することができた。																
要因分析																
類型	説明															
③ 周知・啓発の効果	補助金公募の際の周知が効果的に広がり、コンテンツ開発の申請の増につながった。															
対応案																
ウェルネスツーリズムを推進するため、県内の実態を把握するとともに、推進に弊害となっている観光諸問題を解決する必要があることから、専門家派遣や相談窓口の設置を行うなどして、地域に根付いた取組を行う。																

(様式3) 「成果指標」検証票

関連する主な取組					
施策番号	3-(6)-イ-④	主な取組名	ウェルネス等に関する観光コンテンツの開発	対応課	観光振興課
成果指標への寄与の状況	地域観光協会等が実施するウェルネス関連のコンテンツ開発を支援することにより、開発件数の増につながることから、一定程度寄与するものとする。				
要因分析	地域観光協会等が実施するウェルネス関連のコンテンツ開発を支援することにより、開発件数の増につながることから、一定程度寄与するものとする。				
対応案	補助事業を公募する段階で、「心身の健康増進や回復につながる観光コンテンツ」を事例として挙げ、申請を促す。				
関連する主な取組					
施策番号	3-(6)-イ-④	主な取組名	観光統計実態調査	対応課	観光政策課
成果指標への寄与の状況	観光統計実態調査におけるアンケートの中で、観光目的に関する設問において、避寒や花粉症等の症状緩和を選択する項目を設けその割合を調査した。その結果を観光統計実態調査においてHP上で公表することで、ウェルネスツーリズムの促進に寄与した。				
要因分析	調査の実施による施策の企画・立案の促進を通して、ウェルネスツーリズムの推進に寄与した。				
対応案	引き続き、調査の実施による施策の企画・立案の促進を図る。				

成果指標 検証票

施策名	3-(9)-ア-①	スポーツコンベンションの推進とスポーツ交流拠点の形成									
成果指標名	単位	基準値	実績値			目標値 R6年度	達成率	達成状況			
			R4	R5	R6						
スポーツコンベンション開催実績	件	376	657	706	829	592	209.7%	目標達成			
				(速報値)							
			計画値								
			448	520	592						
担当部課名	文化観光スポーツ部スポーツ振興課										
達成状況の説明											
スポーツコンベンション誘致等の取組により、スポーツコンベンション開催実績は令和5年度710件（確定値）、令和6年度は829件（確定値）となった。スポーツコンベンション開催実績は、スポーツコンベンション誘致等の取組により、順調に推移している。											
要因分析											
類型	説明										
① 計画通りの進捗	令和6年度実績値は829件であり、スポーツアイランド沖縄のブランド力向上等に伴い、県内におけるスポーツコンベンション開催の需要は増加傾向にあり、目標値も達成している。										
対応案											
スポーツコミッション沖縄への問い合わせ件数が増加しており、今後はさらなる増加傾向が見込まれるため、関係機関の連携を強化して受入体制を整える。											

(様式3) 「成果指標」検証票

関連する主な取組					
施策番号	3-(9)-ア-①	主な取組名	スポーツコンベンション誘致戦略推進	対応課	スポーツ振興課
成果指標への寄与の状況	スポーツコンベンションの誘致に取り組むことで、成果目標の進捗に寄与している。				
要因分析	実績が認められる一方、物価高に伴う宿泊費の高騰などの影響を受けスポーツキャンプ実施経費が増加傾向にあるため、沖縄県での実施を見送るチームや団体が一定程度存在している。				
対応案	引き続き、沖縄ならではの強みを活かし、受入市町村や関連団体との連携を強化し、スポーツコンベンションの誘致拡大に取り組む。				
関連する主な取組					
施策番号	3-(9)-ア-①	主な取組名	スポーツ観光戦略的誘客促進	対応課	スポーツ振興課
成果指標への寄与の状況	スポーツを通じた誘客を行うことにより、成果目標の進捗に寄与している。				
要因分析	プロスポーツチームと連携を取り、アウェイの試合会場で誘客活動や、ツーリズムEXP0へ参加することにより実績の増加につながっている。				
対応案	より誘客を推し進めるために、プロモーションを効果的に実施する必要がある、リアルプロモーション以外にもデジタルツール等を活用する工夫が求められる。				
関連する主な取組					
施策番号	3-(9)-ア-①	主な取組名	プロ野球キャンプ等訪問観光促進	対応課	スポーツ振興課
成果指標への寄与の状況	キャンプ訪問の観光客の増加、消費単価の向上を図ることで、県内スポーツコンベンションにおける経済効果を高め、継続的なプロ野球キャンプ実施につなげることで成果目標の進捗に寄与している。				

(様式3) 「成果指標」検証票

要因分析	受入市町村との連携強化を図ることにより、キャンプ実施定着化につながっている。				
対応案	県内の異なる産業との連携による特産品コラボグッズの開発を支援するなどして、来訪者の満足度向上と経済効果のさらなる拡大に取り組むことで、県内におけるスポーツコンベンションの価値を高めていく。				
関連する主な取組					
施策番号	3-(9)-ア-①	主な取組名	サッカーキャンプ誘致戦略推進	対応課	スポーツ振興課
成果指標への寄与の状況	サッカーキャンプの誘致促進を推し進めることにより成果目標の進捗に寄与している。				
要因分析	市町村や委託事業者との連携強化を図ることにより、チームを安定的に呼び込むことで、実績の増加につながっている。				
対応案	県、市町村、事業者との連携体制の強化等を行い、各チームの情報収集、受入調整を行う必要がある。				
関連する主な取組					
施策番号	3-(9)-ア-①	主な取組名	J1規格スタジアムの整備	対応課	MICE推進課
成果指標への寄与の状況	※スタジアム完成以降にしか成果指標に影響しない。				
要因分析	※スタジアム完成以降にしか成果指標に影響しない。				
対応案	※スタジアム完成以降にしか成果指標に影響しない。				

(様式3) 「成果指標」検証票

関連する主な取組					
施策番号	3-(9)-ア-①	主な取組名	スポーツコミッション沖縄体制整備	対応課	スポーツ振興課
成果指標への寄与の状況	各種スポーツキャンプ等の誘致・受入を行うワンストップ窓口として、スポーツコンベンションの相談に対応し、実施につなげることで、成果目標の進捗に寄与している。				
要因分析	物価高に伴う宿泊費高騰などの影響を受けスポーツキャンプ経費が増加傾向にあり、沖縄県での実施を見送るチームや団体が一定程度存在しているものの、開催に向けた相談は増加傾向にあり、実績につながっている。				
対応案	スポーツコンベンションの開催を一過性のものにせず、継続的な開催を支援するとともに、本県スポーツツーリズムの受入環境の構築に、引き続き取り組む。				
関連する主な取組					
施策番号	3-(9)-ア-①	主な取組名	スポーツコンベンション振興対策	対応課	スポーツ振興課
成果指標への寄与の状況	スポーツコンベンションの歓迎支援等に取り組むことで、成果指標への進捗に寄与している。				
要因分析	スポーツコンベンション受入に係る気運醸成を図ることで、スポーツコンベンションの増加につながっている。				
対応案	引き続き、スポーツチームを歓迎するための各種取組を実施し、スポーツコンベンション開催の気運醸成を図る。				

成果指標 検証票

施策名	3-(9)-ア-②	スポーツを核とした新たな産業の創出とグローバル展開									
成果指標名	単位	基準値	実績値			目標値 R6年度	達成率	達成状況			
			R4	R5	R6						
スポーツ・ヘルスケア関連産業の創出に向けたビジネスマッチング件数	件	23	44	61	72	75	94.2%	目標達成の見込み			
			計画値								
			40	58	75						
担当部課名	文化観光スポーツ部スポーツ振興課										
達成状況の説明											
令和6年度の実績は72件となっており、計画値を下回っているものの、実績は前年度から順調に増加している。沖縄県が実施した事業のほか、民間法人においてもマッチングの機会創出に取り組んでおり、計画の進捗につながっている。											
要因分析											
類型	説明										
① 計画通りの進捗	目標値を達成するため、引き続き各種取組を推進するとともに、民間法人の動向についても、更なる調査・研究を進める。										
対応案											
民間法人の取組について情報収集に努めるとともに、県が実施する各種施策との連携により、スポーツを核とした新たな産業の創出とグローバル展開を推進する。											

(様式3) 「成果指標」検証票

関連する主な取組					
施策番号	3-(9)-ア-②	主な取組名	スポーツアイランド沖縄形成に向けた付加価値構築支援	対応課	スポーツ振興課
成果指標への寄与の状況	活動指標の進捗状況は「順調」となっており、目標値を上回っていることから、成果指標の達成に寄与している。				
要因分析	スポーツと各種産業が連携した取組を支援することにより、県内事業者のスポーツビジネスへの参画を促し、新たなビジネスマッチングの創出につながっている。				
対応案	今後は取組の拡充に取り組み、スポーツを核とした新たな産業の創出とグローバル展開を推進する。				
関連する主な取組					
施策番号	3-(9)-ア-②	主な取組名	スポーツ関連産業のグローバル市場への展開	対応課	スポーツ振興課
成果指標への寄与の状況	活動指標の進捗状況は「未着手」となっており、成果指標の達成に寄与していない。				
要因分析	当該支援が必ずしも海外展開に限った内容となっていないため、海外展開に関する応募がない状況。				
対応案	広報物や事前説明会などにおいて、他の産業との連携による海外展開の説明を積極的に行い、海外展開に資する提案が増加するよう取組む。				

(様式3) 「成果指標」検証票

関連する主な取組					
施策番号	3-(9)-ア-②	主な取組名	県内スポーツチームと他産業とのオープンイノベーション促進	対応課	スポーツ振興課
成果指標への寄与の状況	活動指標の進捗状況は「未着手」となっており、成果指標の達成に寄与していない。				
要因分析	当該支援が必ずしも各種スポーツ団体と他産業との連携等による新たなサービスの創出に限った内容となっていないため、連携等によるサービスの創出に関する応募がない状況。				
対応案	広報物や事前説明会などにおいて、他の産業との連携による海外展開の説明を積極的に行い、海外展開に資する提案が増加するよう取組む。				
関連する主な取組					
施策番号	3-(9)-ア-②	主な取組名	スポーツ関連産業の展示会誘致・開催	対応課	スポーツ振興課
成果指標への寄与の状況	活動指標の進捗状況は「順調」となっており、目標値を上回っていることから、成果指標の達成に寄与している。				
要因分析	スポーツ関連産業の展示会に出展しスポーツコンベンションの誘致活動に取り組むとともに、展示会主催者との意見交換や情報収集等の誘致活動を行ったことで、同展示会の県内開催につながった。				
対応案	展示会誘致においては、主催者の意向が重要であることから、今後も開催が継続するよう、開催条件の調査や関係機関との連携等、主催者との継続的な情報収集や意見交換を行う。				

(様式3) 「成果指標」検証票

関連する主な取組					
施策番号	3-(9)-ア-②	主な取組名	スポーツマネジメント等人材育成	対応課	スポーツ振興課
成果指標への寄与の状況	活動指標の進捗状況は「順調」となっているものの、学生等の人材育成は検討中であり、成果指標の進捗への寄与は限定的である。				
要因分析	学生の関わり方については情報管理やトレーナーへの影響もあることから、学生が参画可能な取組について、検討中の段階である。				
対応案	持続的なスポーツ関連産業の発展を牽引するには、中核となる地域スポーツコミッションの人材育成が重要であることから、引き続き取組に向けて検討を進める。なお、沖縄総合事務局のスポーツ産業に係る中核人材育成事業へ委員として参画している。				

成果指標 検証票

施策名	3-(9)-ア-③	スポーツ資源を活用したまちづくり									
成果指標名	単位	基準値	実績値			目標値 R6年度	達成率	達成状況			
			R4	R5	R6						
スポーツコンベンション参加者数（県外、海外）	人	10,831	78,467	50,201	52,557	53,994	96.7%	目標達成の見込み			
				(速報値)	(R5年度確定値)						
			計画値								
			25,204	39,621	53,994						
担当部課名	文化観光スポーツ部スポーツ振興課										
達成状況の説明											
令和4年度のスポーツコンベンション参加者数（県外、海外）は、47,322人（確定値）となった。 令和5年度のスポーツコンベンション参加者数（県外、海外）は、52,557人（確定値）となった。 スポーツコンベンション参加者数（県外、海外）は、スポーツコンベンション誘致等の取組により、順調に推移している。											
要因分析											
類型	説明										
① 計画通りの進捗	沖縄県内におけるスポーツコンベンション参加者数（県外、海外）は目標達成の見込みだが、引き続き、スポーツイベントの支援や国際大会の誘致等を行い、更なる参加者の増につなげていく。										
対応案											
スポーツコンベンションの開催実績の増加に伴い、スポーツコンベンション参加者数（県外、海外）も増加が見込まれるため、関係機関の連携を強化して受入体制を整える。											

(様式3) 「成果指標」検証票

関連する主な取組					
施策番号	3-(9)-ア-③	主な取組名	県内プロスポーツチーム等ホームゲームへの誘客促進	対応課	スポーツ振興課
成果指標への寄与の状況	県内プロスポーツチーム等ホームゲームへの誘客促進により観客動員数が増加することで、成果目標の進捗に寄与している。				
要因分析	琉球キングス等の県内チームの躍進が県民のホームゲーム観戦増加につながり、活気に満ち溢れたスタジアムの映像等テレビやネットに流れることで、県外からの観客増につながるなどの好影響を与えている。				
対応案	競技によって観客動員数に差が生じるため、当該競技における効果的な対策の検討が必要となっている。				
関連する主な取組					
施策番号	3-(9)-ア-③	主な取組名	スポーツを通じた社会課題解決、国際貢献	対応課	スポーツ振興課
成果指標への寄与の状況	活動指標の進捗状況は「順調」となっているものの、成果指標の進捗への寄与は限定的である。				
要因分析	県外からコーチや選手による指導や交流を行っているものの、県民向けの取組になっていることから、成果指標の進捗への寄与は限定的となっている。				
対応案	県外・海外からのスポーツコンベンション参加者数は限定的であるが、コーチや選手による指導や交流は子供たちの健全育成に寄与することから、引き続き取り組みを推進する。				

(様式3) 「成果指標」検証票

関連する主な取組					
施策番号	3-(9)-ア-③	主な取組名	国際競技大会の開催支援	対応課	スポーツ振興課
成果指標への寄与の状況	デフバレーボール世界選手権を開催により、スポーツコンベンション参加者数が増加したことで、成果目標の進捗に寄与している。				
要因分析	デフバレーボール世界選手権を開催により、出場選手や関係者、観客等が来県している。				
対応案	引き続き、国際大会の誘致を実施していく。				
関連する主な取組					
施策番号	3-(9)-ア-③	主な取組名	スポーツイベント開催支援	対応課	スポーツ振興課
成果指標への寄与の状況	スポーツイベントの開催を支援することにより、成果目標の進捗に寄与している。				
要因分析	新規のスポーツイベントに対しては補助率を高く設定するなど、仕組みを工夫することにより、実績の増加につながっている。				
対応案	支援したスポーツイベントの自走化・定着化を図るため、事業者の実施体制の強化等が必要となっている。				

成果指標 検証票

施策名	3-(9)-イ-①	スポーツ・レクリエーション施設及び関連基盤の整備・充実									
成果指標名	単位	基準値	実績値			目標値 R6年度	達成率	達成状況			
			R4	R5	R6						
県立社会体育施設の利用者数	人	267,379	495,684	449,067	1,101,150	671,000	206.6%	目標達成			
			計画値								
			401,785	536,594	671,000						
担当部課名	文化観光スポーツ部スポーツ振興課										
達成状況の説明											
奥武山総合運動場体育施設について、個人の利用者及び専用利用による大規模イベント等の参加者が増加したことにより、計画値に対し40万人以上上回る結果となった。											
要因分析											
類型	説明										
⑮ その他個別要因	指定管理者による施設の管理運営は適切になされており、個人の利用及び大規模イベント等の参加者が増加したことにより、計画値を大幅に上回る結果となった。										
対応案											
施設利用者の利便性向上を図るため、令和7年から導入するオンライン予約システムを導入し、予約手続や料金支払い等のオンライン化を進めていく。また、スポーツ教室等のオンライン開催等を検討していくなど、引き続き目標値の達成に向けた取り組みに努める。											

(様式3) 「成果指標」検証票

関連する主な取組					
施策番号	3-(9)-イ-①	主な取組名	県立社会体育施設の計画的な改修・修繕	対応課	スポーツ振興課
成果指標への寄与の状況	奥武山総合運動場消防設備改修工事、ライフル射撃場LED化工事など6件の工事を実施し、施設利用者の安全確保や快適なスポーツ環境の整備が図られたことで、成果指標の達成に寄与している。				
要因分析	県立社会体育施設の機能維持・向上を図ることで、施設利用者のニーズに対応し、利用者数の増加につながっている				
対応案	今後も国民スポーツ大会の施設整備基準と、個別施設計画との整合性を図りながら、施設利用者の安全で快適な環境整備に向けて、引き続き計画的・効率的に整備していく必要がある。				
関連する主な取組					
施策番号	3-(9)-イ-①	主な取組名	県立社会体育施設の環境整備や接客対応の充実、利用条件の改善、教室・プログラムの充実	対応課	スポーツ振興課
成果指標への寄与の状況	指定管理制度を導入し、基本協定書に基づき施設の維持管理や運営、スポーツ教室の開催など民間のノウハウを活用しながら適切に実施されており、成果指標の達成へ向けて寄与している。				
要因分析	指定管理者による創意工夫のある自主事業の拡充や、利用者から要望が上がっていた錬成道場棟へのスロープの設置といった環境整備の改善等により、利用者のニーズに応えることで成果指標の達成へ向けて寄与していると考えられる。				
対応案	様々な利用者の多様なニーズに対応できるよう、引き続き指定管理者や関係機関と連携し、施設の利用者数の増加に向けて取り取り組む。				

(様式3) 「成果指標」検証票

関連する主な取組					
施策番号	3-(9)-イ-①	主な取組名	スポーツ施設オンライン予約システムの導入による利便性向上	対応課	スポーツ振興課
成果指標への寄与の状況	令和7年度より、社会体育施設のオンライン予約システムを導入し、利便性向上を図ることで、利用者数の増加へ寄与し、成果指標の達成へ向けて寄与する予定。				
要因分析	社会体育施設のオンライン予約システムを導入することで、利用空き時間の確認をネット上で行うことができるようになり、かつ、簡易に予約ができることから、利便性向上による利用者の増加が見込まれる。				
対応案	支払い機能など、システムの一部機能が解放されていないことから、そちらも利用が可能となると、さらに利便性が高まり利用者の増加が見込まれる。今後は実績や効果をもとに、システム要件の見直しを行い、さらに利便性を向上させ、利用者数の増加を図る。				
関連する主な取組					
施策番号	3-(9)-イ-①	主な取組名	県立学校体育施設の有効活用	対応課	スポーツ振興課
成果指標への寄与の状況	県立学校を開放し、県民が気軽にスポーツ活動ができる場を確保することで、成果指標の達成へ向けて寄与している。				
要因分析	身近に利用できるスポーツ活動の場を確保することで、社会体育施設利用の機会が広がり、利用者の増加につながっている。				
対応案	学校体育施設の開放校の増加に向け、引き続き学校との課題解決に向けた個別調整や利用団体への周知を推進する必要がある。				

(様式3) 「成果指標」検証票

関連する主な取組					
施策番号	3-(9)-イ-①	主な取組名	市町村立学校体育施設の有効活用	対応課	スポーツ振興課
成果指標への寄与の状況	一般利用のために学校施設を開放することで、県民のスポーツ・レクリエーションの場を確保することができ、成果指標の達成へ向けて寄与している。				
要因分析	全市町村において一般利用のために学校施設を開放おり、市町村の学校体育施設を有効活用している。				
対応案	全市町村において一般利用のために学校施設を開放していることから取組を終了する。				

成果指標 検証票

施策名	3-(9)-イ-②	県民の競技力向上・スポーツ活動の推進									
成果指標名	単位	基準値	実績値			目標値 R6年度	達成率	達成状況			
			R4	R5	R6						
県出身日本代表スポーツ選手累計（国際大会）	名	133	151	171	183	190	87.7%	目標達成の見込み			
			計画値								
			152	171	190						
担当部課名	文化観光スポーツ部スポーツ振興課										
達成状況の説明											
令和5年度までの累計から12名増加し、目標達成の見込みとなっており、沖縄県スポーツ協会の競技力向上対策事業によりトップアスリートの育成につながっていると考える。主な競技はウエイトリフティング、ハンドボール、レスリング等。											
要因分析											
類型	説明										
② 関係機関の調整進展	沖縄県スポーツ協会と連携し、競技力向上対策を進めている。同協会が設置する競技力向上対策委員会において、基本方針を毎年度策定し、強化事業を進めている。										
対応案											
今後とも、沖縄県スポーツ協会を通して、競技力向上対策委員会、指導者育成員会、スポーツ医科学委員会等との連携する。また、今年度から県民体育大会から県民スポーツ大会へと名称が変更となることを契機として大会開催の機運醸成につなげ、参加者の増を図る。											

(様式3) 「成果指標」検証票

関連する主な取組					
施策番号	3-(9)-イ-②	主な取組名	県民体育大会運営支援	対応課	スポーツ振興課
成果指標への 寄与の状況	県民スポーツ大会は本県の全体的な競技力向上につながる重要な大会であり、トップアスリートの育成に寄与する。				
要因分析	市郡対抗で行われる本大会は、各地区で選抜された選手同士の対戦や交流を通して、競技力向上及び競技の普及につながっている。				
対応案	大会を開催するだけでなく、選手の育成につながるような取組を各競技団体と連携し、検討する必要がある。				
関連する主な取組					
施策番号	3-(9)-イ-②	主な取組名	各競技団体選手育成等への取り組み支援	対応課	スポーツ振興課
成果指標への 寄与の状況	各競技団体が主体となり、中長期的な選手の育成・強化に取り組むことにより、競技力向上に寄与している。				
要因分析	各競技団体の課題に応じた選手育成が行われるため、照準を絞った具体的な取組により、競技力の向上につながっている。				
対応案	本事業に参加していない他の競技団体についても、積極的に活用できるように支援や更なる周知が必要である。				

(様式3) 「成果指標」検証票

関連する主な取組					
施策番号	3-(9)-イ-②	主な取組名	トップレベル選手育成支援	対応課	スポーツ振興課
成果指標への寄与の状況	世界選手権等の国際大会に出場する本県日本代表選手12名(5競技)に対して、奨励金を交付し、支援を行うことにより、県出身日本代表スポーツ選手の育成に寄与している。				
要因分析	本県のワールドクラスアスリート育成強化事業において、国際大会で活躍する選手を支援しており、日本代表選手の選出につながっている。				
対応案	今後も継続して国際大会で活躍する県出身選手の育成強化を図るため、支援の拡充について検討する。				
関連する主な取組					
施策番号	3-(9)-イ-②	主な取組名	指導者対策事業	対応課	スポーツ振興課
成果指標への寄与の状況	スポーツ指導に携わる指導者が集い、日本を代表する選手を講師に招聘した講演や各競技団体の実践研究・実践事例を共有することにより、競技力の向上に向けての指導者育成につながっている。				
要因分析	沖縄県中学校体育連盟、沖縄県高等学校体育連盟、沖縄県スポーツ協会の三者で実践研究大会を開催し、競技団体の垣根を超えた情報共有の場となっていることが指導者の育成に寄与している。				
対応案	より多くの指導者が参加できるよう、実践研究大会の開催時期の検討や報告書の有効活用等について周知を図る。また、公認指導者資格の取得促進・啓発も行う必要がある。				

成果指標 検証票

施策名	3-(9)-イ-③	県民一人ひとりが参加する生涯スポーツの推進														
成果指標名	単位	基準値	実績値			目標値 R6年度	達成率	達成状況								
			R4	R5	R6											
スポーツ実施率	%	58.3	48.1	46.1	48.2	62.2	-259.0%	達成は困難								
			計画値													
			59.6	60.9	62.2											
担当部課名	文化観光スポーツ部スポーツ振興課															
達成状況の説明																
令和6年度の成人・週1回以上のスポーツ実施率は48.2%となっており、令和6年度計画値62.2%との比較では14ポイント下回り、達成状況は77.5%に留まっている。																
要因分析																
類型	説明															
⑮ その他個別要因	スポーツ実施率調査によると、スポーツ実施のための必要な条件として、「体力的に自信が持てれば」や「生活費に余裕ができれば」といった内生的な要因によるものも多い。															
対応案																
スポーツ・レクリエーション祭については、県民の誰もがより気軽に多くの競技に参加できるよう、関係団体と連携を図り、開催方法を検討し、県民のスポーツ活動への参加を促す。県立学校体育施設開放事業についても、開放校や参加団体の拡充に向け各学校や関係機関との連携を強化する。また、目標達成の課題となっている働き盛り世代や女性のスポーツ参加率向上のため、新規事業の立ち上げを検討する。																

(様式3) 「成果指標」検証票

関連する主な取組					
施策番号	3-(9)-イ-③	主な取組名	総合型スポーツクラブの創設・育成	対応課	スポーツ振興課
成果指標への寄与の状況	総合型地域スポーツクラブ数は63クラブで目標値まで2クラブ足りない状況であるが、幅広い世代の人々が各自の興味関心・競技レベルに合わせて様々なスポーツに触れる機会を提供することで、成果指標の進捗に寄与している。				
要因分析	クラブ訪問を通じた助言・指導や研修会等の実施により、目標値を維持することでスポーツに触れる機会の提供に繋がっている。				
対応案	クラブが地域とともに活発に活動できる環境を整備するため、市町村や関係団体等との連携強化を図る。				
関連する主な取組					
施策番号	3-(9)-イ-③	主な取組名	クラブアドバイザーによる総合型地域スポーツクラブへの支援	対応課	スポーツ振興課
成果指標への寄与の状況	クラブアドバイザーによる助言・指導の実施回数は30回で目標値を達成しており、幅広い世代の人々が各自の興味関心・競技レベルに合わせて様々なスポーツに触れる機会を提供することで、成果指標の進捗に寄与している。				
要因分析	クラブ訪問を通じた助言・指導や研修会等の実施により、目標値を維持することでスポーツに触れる機会の提供に繋がっている。				
対応案	クラブが地域とともに活発に活動できる環境を整備するため、市町村や関係団体等との連携強化を図る。				

(様式3) 「成果指標」検証票

関連する主な取組					
施策番号	3-(9)-イ-③	主な取組名	女性のライフステージに応じたスポーツ参加の促進	対応課	スポーツ振興課
成果指標への寄与の状況	女性のスポーツ実施率の向上は成果指標の達成に向けて寄与するが、近年下降減少にある。				
要因分析	スポーツ実施率調査によると、女性がスポーツを実施しなかった理由として、「仕事や家事が忙しいから」が一番多く、また、男性と比較して「面倒くさいから」「子どもに手がかかるから」「運動・スポーツが嫌いだから」との理由も多く、スポーツの実施に至っていないと考えられる。				
対応案	同様の取組が複数あるため削除。				
関連する主な取組					
施策番号	3-(9)-イ-③	主な取組名	高齢者の体力や健康状態に応じたスポーツ参加の促進	対応課	スポーツ振興課
成果指標への寄与の状況	高齢者のスポーツ参加の促進の取組により、スポーツ実施率の向上に寄与している。				
要因分析	スポーツ実施率調査によると、高齢者のスポーツ実施率は他の年代に比べて高い傾向にある。高齢者のスポーツ参加の促進の取組により、スポーツ実施率の向上に繋がっている。				
対応案	同様の取組が複数あるため削除。				

(様式3) 「成果指標」検証票

関連する主な取組					
施策番号	3-(9)-イ-③	主な取組名	スポーツコンベンションへの県民参加促進	対応課	スポーツ振興課
成果指標への寄与の状況	スポーツコンベンションの推進は、県民のスポーツ参加機会の拡充にもつながるため、成果指標の達成へ向けて寄与している。				
要因分析	スポーツコンベンション県内参加者数については、コロナ禍で減少していたが、参加促進の取組を推進することで、今後回復が見込まれる。				
対応案	スポーツコンベンションの推進と県民のスポーツ参加機会拡充のため、機運醸成の取組や情報発信を行う。				
関連する主な取組					
施策番号	3-(9)-イ-③	主な取組名	県民の誰もがスポーツに親しむことができる機会の創出	対応課	スポーツ振興課
成果指標への寄与の状況	県民の沖縄県スポーツ・レクリエーション祭への参加は、成果指標の達成に向けて寄与するものの、実績が目標の半数程度にとどまっている。				
要因分析	沖縄県スポーツ・レクリエーション祭について、コロナ禍以前は約40種目で開催されていたところ、コロナ禍があげた令和6年度では31種目の開催にとどまっている。小規模の団体や大会にとってはコロナ禍による中止の影響（主催団体の一時的な解散等）がより大きく、参加者数は目標値に対して大幅に進捗が遅れる状況となっている。				
対応案	県民が気軽にスポーツに親しむことができるよう、引き続き複数種目の同一日程・同一会場での開催や体験型を主とした開催などを検討し、県民のスポーツ活動への参加を促す。				

(様式3) 「成果指標」検証票

関連する主な取組					
施策番号	3-(9)-イ-③	主な取組名	県立社会体育施設におけるスポーツ・レクリエーション教室の開催	対応課	スポーツ振興課
成果指標への寄与の状況	開催件数は目標値以上の実績となり、スポーツ・レクリエーション教室への参加がスポーツ実施の契機となることで成果指標の達成へ向けて寄与している。				
要因分析	老若男女参加できる教室のほか多種目にわたるスポーツ・レクリエーション教室を開催し、多くの参加者がスポーツに親しむことでスポーツ実施率の向上につながると考える。				
対応案	引き続き指定管理者等との連携を強化しながら、利用者のニーズを踏まえたスポーツ・レクリエーション教室の拡充を図る。				

成果指標 検証票

施策名	4-(2)-ア-①	国内外のウチナーンチュとの絶え間ない交流									
成果指標名	単位	基準値	実績値			目標値 R6年度	達成率	達成状況			
			R4	R5	R6						
「世界のウチナーネットワーク」サイトのアクセス数（累計）	件	16,015	27,442	27,054	32,648	31,015	110.9%	目標達成			
			計画値								
			21,010	26,020	31,015						
担当部課名	文化観光スポーツ部交流推進課										
達成状況の説明											
JICAやほか事業等と連携し、各種イベントやお知らせ等を多言語にてWeb・SNS等により情報発信した結果、目標を上回った。											
要因分析											
類型	説明										
① 計画通りの進捗	JICAを含めて関係する事業と連携して掲載記事を増やしたことからそれに伴いアクセス数も増えたと思慮される。										
対応案											
引き続き、関係機関と連携を図りながら、ウチナーネットワークの継承発展に取り組んでいく必要がある。											

(様式3) 「成果指標」検証票

関連する主な取組					
施策番号	4-(2)-ア-①	主な取組名	ウチナーネットワークの強化推進	対応課	交流推進課
成果指標への 寄与の状況	国内外のウチナアンチュとの交流に関する取組について、適宜、情報発信した。				
要因分析	県内外の関係機関と連携してさまざまな多元的交流や情報発信したことが、アクセス数の増加につながったと思慮される。				
対応案	引き続き、県内外の関係機関と連携し、ウチナーネットワークの強化に向けて取り組む。				
関連する主な取組					
施策番号	4-(2)-ア-①	主な取組名	ウチナージュニアスタディー事業	対応課	交流推進課
成果指標への 寄与の状況	ウチナージュニアスタディー参加事業者のウチナーネットワークへの関心の高まりにより、アクセス数の増に寄与した。				
要因分析	コロナが明け、対面実施を再開し、従来実施と同規模の交流が再開されたことも、アクセス数の増に繋がったと思慮される。				
対応案	引き続き、同事業でウチナーネットワークの重要性等を伝え、同ネットワークへの関心を高めていく。				

(様式3) 「成果指標」検証票

関連する主な取組					
施策番号	4-(2)-ア-①	主な取組名	国内外の県人会との連携	対応課	交流推進課
成果指標への寄与の状況	ボリビアとハワイの周年記念事業への参加を通して、国内および海外県人会と母県沖縄とのつながりを再確認する等、ウチナーネットワークへの関心の高まりによりアクセス数の増に寄与した。				
要因分析	ウチナーネットワークへの関心の高まりがアクセス数の増につながったと考える。				
対応案	引き続き、同取組においてウチナーネットワークの重要性を伝え、同ネットワークへの関心を高めていく。				
関連する主な取組					
施策番号	4-(2)-ア-①	主な取組名	「琉球・沖縄の知と心」国際発信事業	対応課	生涯学習振興課
成果指標への寄与の状況	海外等での移民資料の収集、移民ルーツ調査、企画展、講演会の実施、渡航記録データベースの公開等により、成果指標に寄与した。				
要因分析	当事業の上記の取り組みは、「世界のウチナーネットワーク」サイトにてサイトリンクなどによる周知を図っており、成果指標の推進につながった。				
対応案	引き続き、「世界のウチナーネットワーク」サイトにてサイトリンクほか、関係機関との連携を強化し、成果指標の目標達成に努める。				

(様式3) 「成果指標」検証票

関連する主な取組					
施策番号	4-(2)-ア-①	主な取組名	次世代ウチナーネットワーク継承基盤構築事業 (育成人材等を対象とする相互交流)	対応課	交流推進課
成果指標への 寄与の状況	育成人材等を対象とするオンラインを活用した相互交流やWEB・SNS等により情報発信した。				
要因分析	留学生の本県での研修においては、対面だけでなくオンラインも積極的に活用したことが、アクセス数の増加につながったと思慮される。				
対応案	引き続き、オンラインを積極的に活用し安定的なウチナーネットワークの継承・発展に取り組んでいく。				
関連する主な取組					
施策番号	4-(2)-ア-①	主な取組名	次世代ウチナーネットワーク継承基盤構築事業 (ウチナーネットワークの多言語情報発信)	対応課	交流推進課
成果指標への 寄与の状況	「世界のウチナーネットワーク」サイトを適切に運営し、日本語、英語、スペイン語、ポルトガル語の多言語で情報発信することで、同サイトへのアクセス数の増加に寄与するものと考えられる。				
要因分析	他機関の世界のウチナアンチュと関連するイベント情報を、幅広く多言語で掲載、情報発信したことが、アクセス数の増加につながったと思慮される。				
対応案	よくある質問リストをサイト内に提示し、閲覧者がスムーズに疑問を解決、またはアクセスできるようにする。				

成果指標 検証票

施策名	4-(2)-イ-①	在住外国人等が住みやすい地域づくり									
成果指標名	単位	基準値	実績値			目標値 R6年度	達成率	達成状況			
			R4	R5	R6						
在留外国人数	人	19,839	21,792	25,447	29,384	21,220	691.2%	目標達成			
			計画値								
			20,299	20,760	21,220						
担当部課名	文化観光スポーツ部交流推進課										
達成状況の説明											
在住外国人はコロナ禍以降、増加が継続している。様々な業界で人手不足が課題となっている中で、外国人労働者が担う役割も重要性を増している。											
要因分析											
類型	説明										
① 計画通りの進捗	県内における在住外国人数が増加傾向にある。引き続き、在留外国人を取り巻く雇用・生活環境の整備は急務であり、更なる取り組みを行っていく必要がある。										
対応案											
引き続き各種施策を通して、増加する在住外国人が安心して暮らすことのできる社会作りに取り組む。											
関連する主な取組											
施策番号	4-(2)-イ-①	主な取組名	在住外国人の生活支援				対応課	交流推進課			

(様式3) 「成果指標」検証票

成果指標への 寄与の状況	生活・法律相談を通して在住外国人の住みやすい地域づくりに貢献することができ、在留外国人数の増加に寄与するものと考えられる。				
要因分析	生活・法律相談を通して在住外国人の住みやすい地域づくりに貢献することができた。				
対応案	引き続き生活・法律相談を通して在住外国人の住みやすい地域づくりに貢献していくとともに、在住外国人が求めるサービス等のニーズ把握に努める。				
関連する主な取組					
施策番号	4-(2)-イ-①	主な取組名	リーガル・ライフサポーターの養成	対応課	交流推進課
成果指標への 寄与の状況	リーガル・ライフサポーター講座受講済みの方を対象としたスキルアップ講座を通して、在住外国人等が住みやすい地域づくりに寄与した。				
要因分析	リーガル・ライフサポーター講座受講済みのスキルアップにより、より在住外国人の生活面等の支援が充実したため。				
対応案	引き続きリーガル・ライフサポーターの質の向上に努める。				
関連する主な取組					
施策番号	4-(2)-イ-①	主な取組名	災害時外国人支援サポーターの養成	対応課	交流推進課
成果指標への 寄与の状況	災害時外国人支援サポーター養成講座によって、災害面での在住外国人支援を促進し、在住外国人の住みやすい地域づくりに寄与した。				
要因分析	災害時における在住外国人の円滑な避難・支援を促進できたため。				
対応案	引き続き災害時外国人支援サポーター養成講座を通して、災害時における在住外国人の円滑な避難・支援を促進する。				

成果指標 検証票

施策名	4-(2)-イ-②	県民の異文化理解・国際理解の促進									
成果指標名	単位	基準値	実績値			目標値 R6年度	達成率	達成状況			
			R4	R5	R6						
おきなわ国際協力・交流フェスティバルの参加者数（特設ホームページへのアクセス数）	件	2,697	2,683	3,398	3,400	3,417	97.6%	目標達成の見込み			
			計画値								
			2,937	3,177	3,417						
担当部課名	文化観光スポーツ部交流推進課										
達成状況の説明											
令和6年度はオンラインではなくリアルで開催し、来場者が3,400人、ブース出展など参加団体数は29件となり当初の目標値をほぼ達成した。											
要因分析											
類型	説明										
① 計画通りの進捗	令和6年度はリアル開催としたため、特設ホームページへのアクセス数で計測していたところを来場者数に置き換えた。事前の直接的・間接的な広報も功を奏し来場者は約3,400人となり、多くの人々が国際協力・国際交流に接する機会となった。										
⑭ 県民ニーズ・ライフスタイルの変化	訪沖、在沖外国人の増加により外国人に接する機会も一般的になっており、異文化への関心・理解が徐々に増進している。										
⑮ その他個別要因	来場者アンケート（回答者数605名）では本イベントを「大変良かった」「良かった」の回答が95%となった。運営側として参加した学生ボランティア73名も98%が「大変良かった」「良かった」と回答し、全体として満足度の高いイベントとなっている。										

(様式3) 「成果指標」検証票

対応案					
今後も県民の異文化理解・国際理解を促進する様々な機会を設け、多文化が共生できる社会を目指す。					
関連する主な取組					
施策番号	4-(2)-イ-②	主な取組名	多文化共生社会に向けた県民向けの取組	対応課	交流推進課
成果指標への寄与の状況	万国津梁会議における検証を通して、多文化共生社会の構築に寄与した。				
要因分析	万国津梁会議において沖縄における多文化共生社会の課題等を抽出し、次年度における行動計画の策定につなげた事により、さらなる多文化共生社会の実現に向けた土台を構築することができた。				
対応案	今後はアクションプランを策定し、多文化共生社会における課題の改善や、取組の強化に努める。				
関連する主な取組					
施策番号	4-(2)-イ-②	主な取組名	おきなわ国際協力・交流フェスティバルとの連携	対応課	交流推進課
成果指標への寄与の状況	本取組において効果的な広報の実施を行っていることから、来場者数が成果指標の動向に寄与していると考ええる。				
要因分析	今回のフェスティバルは計画値を上回っており、効果的な広報の実施が図られたと考える。				
対応案	引き続き来場者の増に向け、広報手法や集客を集めるための取り組み等について検討していく。				

(様式3) 「成果指標」検証票

関連する主な取組					
施策番号	4-(2)-イ-②	主な取組名	国際交流員による異文化理解促進	対応課	交流推進課
成果指標への寄与の状況	国際交流員派遣事業により、小中高生が外国文化に触れるきっかけを創出して異文化理解・国際理解を促進した。				
要因分析	国際交流員を県内小中高校等に派遣し、若い世代への国際理解・交流への関心を高めたことで国際協力イベントへの関心増につながった。				
対応案	離島、僻地を含む県内各地域に幅広く異文化理解・国際理解を促進する派遣事業を継続していく。				
関連する主な取組					
施策番号	4-(2)-イ-②	主な取組名	外国人による意見発表等を通じた異文化理解・国際理解の促進	対応課	交流推進課
成果指標への寄与の状況	日本語弁論大会を通して多文化共生のあり方を検証する場を設けることで、県民の異文化理解・国際理解の促進に寄与した。				
要因分析	日本語弁論大会を通して多文化共生のあり方を検証する場を設けることで、県民の異文化理解・国際理解を促進することができた。				
対応案	今後も施策を展開し、県民の異文化理解・国際理解を促進していく。				

成果指標 検証票

施策名	4-(2)-ウ-①	観光交流、経済交流等の推進									
成果指標名	単位	基準値	実績値			目標値 R6年度	達成率	達成状況			
			R4	R5	R6						
MICE開催件数	件	490	958	958	1,544	1,863	76.8%	目標達成の見込み			
				(R4年度)	(R5年度)						
			計画値								
			947	1,406	1,863						
担当部課名	文化観光スポーツ部MICE推進課										
達成状況の説明											
R6年度実績は、沖縄県MICE開催実態調査の確定が9月頃の予定であるため、令和5年度実績としている。現在、精査中だが令和5年度を上回るMICE開催となっており、開催に伴う経済波及効果（間接効果）も、MICE開催実績増に伴い令和5年度よりも増加することが見込まれる。											
要因分析											
類型	説明										
⑫ 社会経済情勢	新たなホテルや会議施設の開業、整備により、企業や団体等の研修・セミナーを受入可能な施設が増えたことにより、MICE開催件数は増加傾向にある一方で、MICE業界の人材不足やサステナビリティに資する取組が開催地として選ばれる傾向にある。										
対応案											
引き続き、国内外の営業を訪問やオンラインで行うことと合わせて、MICEの開催支援や受入体制強化を行い、一年を通して開催時期を分散できるようにMICE件数を平準化しながら増やしていくことを目指す。											
関連する主な取組											

(様式3) 「成果指標」検証票

施策番号	4-(2)-ウ-①	主な取組名	各市場での誘客プロモーションの展開	対応課	観光振興課
成果指標への寄与の状況	委託事業者および県海外事務所と連携を図りながら、国際線の路線回復に向けた取組とともに海外個人旅行者の受入再開後を見据えたプロモーション活動を実施した結果、那覇空港の国際路線数の増加に寄与した。				
要因分析	国際線の再開に合わせて適切な市場プロモーションを実施したことで、今年度の開催件数に繋がった。				
対応案	運休が継続している路線の回復及び安定化に向けて、沖縄観光の需要を喚起するための市場プロモーションを継続して実施する必要がある。				
関連する主な取組					
施策番号	4-(2)-ウ-①	主な取組名	MICE誘致の実施（コンベンション）	対応課	MICE推進課
成果指標への寄与の状況	大学などローカルホストへのサポート、学会、FAMツアー、コンベンション専門商談会への出展等を行い、国内学会や国際会議の誘致・開催支援により、MICE開催件数の増大に寄与した。				
要因分析	コンベンション主催者に対してMICE貸切バス等運行支援を14件、コンベンション開催支援27件実施した他、旅行者、PCO、MICE関連団体、大学教授等キーパーソンに対して、直接訪問に加え、オンラインコミュニケーションツールを活用して営業活動を行った。取組の実施により、MICE開催件数の増大につながったものと考えられる				
対応案	支援条件を満たしているコンベンション案件でも、支援できていない案件があるので、コンベンション支援の周知を徹底する。				
関連する主な取組					
施策番号	4-(2)-ウ-①	主な取組名	スポーツコンベンション誘致戦略推進	対応課	スポーツ振興課

(様式3) 「成果指標」検証票

成果指標への 寄与の状況	スポーツコンベンションの誘致に取り組むことで、成果目標の進捗に寄与している。				
要因分析	実績が認められる一方、物価高に伴う宿泊費の高騰などの影響を受けスポーツキャンプ実施経費が増加傾向にあるため、沖縄県での実施を見送るチームや団体が一定程度存在している。				
対応案	引き続き、沖縄ならではの強みを活かし、受入市町村や関連団体との連携を強化し、スポーツコンベンションの誘致拡大に取り組む。				
関連する主な取組					
施策番号	4-(2)-ウ-①	主な取組名	海外事務所等による活動	対応課	グローバルマーケティング戦略課
成果指標への 寄与の状況	物産展等への出展支援、現地企業等への営業活動、県内企業の海外展開支援、情報収集、情報発信等、海外事務所が積極的に活動したことから、成果指標の推進に寄与した。				
要因分析	海外事務所が現地において積極的に関係者との面談や情報収集を進めたことによる。				
対応案	引き続き、関係部局等との連携により、海外における県産品の販路拡大や観光誘客、国際航空路線の復便等の取組を推進する。				
関連する主な取組					
施策番号	4-(2)-ウ-①	主な取組名	海外友好姉妹都市等からの留学生受入	対応課	交流推進課
成果指標への 寄与の状況	令和6年度は10名の留学生を受け入れ、県内大学や研修機関に留学しており、着実な取組を進めたことにより成果指標に寄与できているものとする。				
要因分析	大学等での就学のみならず、それ以外での研修を多く取り入れたことが成果指標にも寄与できているものとする。				
対応案	引き続き、留学生が幅広い世代とつながれる機会を設ける。				

(様式3) 「成果指標」検証票

関連する主な取組					
施策番号	4-(2)-ウ-①	主な取組名	沖縄県・市町村国際交流連絡会議の実施	対応課	交流推進課
成果指標への寄与の状況	令和6年度も市町村および各関係機関を交えての会議を開催したことから、成果指標に寄与できているものとする。				
要因分析	対面による会議を実施したことで、気軽に意見交換できたことが成果指標に寄与できている要因であるとする。				
対応案	本取組が成果指標への着実な寄与につながるよう引き続き取組を実施していく。				
関連する主な取組					
施策番号	4-(2)-ウ-①	主な取組名	小渕沖縄教育研究プログラムの推進	対応課	科学技術振興課
成果指標への寄与の状況	-				
要因分析	-				
対応案	-				

成果指標 検証票

施策名	4-(2)-ウ-②	沖縄の文化を通じた交流									
成果指標名	単位	基準値	実績値			目標値 R6年度	達成率	達成状況			
			R4	R5	R6						
県が支援した文化交流イベントの参加者数	人	5,878	26,005	10,356	9,571	73,500	5.5%	達成に努める			
			計画値								
			28,396	50,982	73,500						
担当部課名	文化観光スポーツ部文化振興課										
達成状況の説明											
コロナ禍により見送られていた行催事の件数が復調傾向にあり、演者等の海外渡航も可能な社会情勢となり、基準値からは増加したものの、計画値には満たない状況である。											
要因分析											
類型	説明										
⑫ 社会経済情勢	行催事の件数は復調傾向にあり、演者等の海外渡航も可能な社会情勢となったが、災害や円安による海外公演経費の高騰等で十分な行催事ができていない可能性がある。また、国内も物価高騰や人材不足等により十分な行催事が実施できていない可能性がある。										
対応案											
社会情勢の変化に柔軟に対応し、交流イベントの周知広報に力をいれ、多くの方にイベントに参加してもらう。											

(様式3) 「成果指標」検証票

関連する主な取組					
施策番号	4-(2)-ウ-②	主な取組名	文化資源を活用した沖縄観光の魅力アップに関する取組	対応課	文化振興課
成果指標への寄与の状況	文化体験プログラムを構築し実施することで、文化資源をアピールする契機となった。 文化団体が宿泊施設等で実施する文化体験プログラム(琉球舞踊等の披露)の実施を11件支援した。 文化団体が宿泊施設等で文化体験プログラム(琉球舞踊等の披露)を実施することにより、文化交流の推進に寄与した。				
要因分析	文化団体が宿泊施設等で実施する文化体験プログラム(琉球舞踊等の披露)の実施を支援することにより、文化交流を推進することができた。				
対応案	SNSやチラシの配布等、様々な周知活動により情報発信を強化していく。				
関連する主な取組					
施策番号	4-(2)-ウ-②	主な取組名	琉球歴史文化の日周知啓発推進事業(歴史・文化ワークショップ)	対応課	文化振興課
成果指標への寄与の状況	ワークショップ等で配布するチラシやパンフレットで「琉球歴史文化の日」とその趣旨について周知・啓発することにより沖縄の歴史文化に興味を持つことにつながった。また、実際に琉球空手や琉歌等を体験することで県民の沖縄の歴史と文化への理解を深めたことにより文化交流イベントの参加者数の増加につながった。				
要因分析	「琉球歴史文化の日」とその趣旨の周知・啓発および組踊等のワークショップにより、実際に沖縄の文化に触れることで理解が深まり文化交流を推進することにつながった。				
対応案	引き続き、ワークショップ等を実施するとともに、情報発信を強化していく。				

(様式3) 「成果指標」検証票

関連する主な取組					
施策番号	4-(2)-ウ-②	主な取組名	高校生伝統芸能分野海外就業体験事業	対応課	文化財課
成果指標への寄与の状況	就業体験を通して職業理解が深まるほか、現地高校生との伝統芸能交流や現地県人会との交流を通してネットワークの形成に寄与している。				
要因分析	研修終了後の翌年度も高文連主催の郷土芸能に関するコンテスト等へ参加する生徒も多く、郷土芸能の伝承と発展に大きく貢献している。				
対応案	引き続き、伝統芸能を活かした観光産業や歴史的・文化的施設での就業体験を実施するほか現地高校生との伝統芸能交流や現地県人会との交流を通してネットワークを構築する。				
関連する主な取組					
施策番号	4-(2)-ウ-②	主な取組名	国立劇場おきなわの伝統芸能県外公演	対応課	文化振興課
成果指標への寄与の状況	京都公演では463人を集客し、来場者アンケートでは、「沖縄文化への関心が高まった」等の意見がよせられた。しかし、入場率は66パーセントとなっており、都市圏での公演ということを踏まえると、さらなる集客が見込める状況であったと考えられる。				
要因分析	開催地の文化と沖縄の文化をコラボさせる演出を加えることで、興味関心を引き出せたと考える。その一方で、周知・広報は受託者が主体となって実施しており、文化振興課による周知・広報活動は実施していなかった。				
対応案	今後も現地の方の興味関心を引き出す工夫をすることで、文化交流を促進するとともに、県庁内の関連部局（観光振興課や商工労働部大阪事務所等）と連携を図ることで、より幅広い層へ広報する。				

(様式3) 「成果指標」検証票

関連する主な取組					
施策番号	4-(2)-ウ-②	主な取組名	伝統芸能の県外公演	対応課	文化振興課
成果指標への 寄与の状況	京都公演278人、金沢公演1,089人を集客し、来場者アンケートでは、「沖縄文化への関心が高まった」等の意見がよせられた。				
要因分析	開催地の文化と沖縄の文化をコラボさせる演出を加えることで、興味関心を引き出せたと考える。				
対応案	今後も現地の方の興味関心を引き出す工夫をすることで、文化交流を促進する。				
関連する主な取組					
施策番号	4-(2)-ウ-②	主な取組名	伝統芸能の海外公演	対応課	文化振興課
成果指標への 寄与の状況	ロサンゼルスでの開催を予定していたが、現地の山火事の影響により中止となった。				
要因分析	予測できない災害によるもの。				
対応案	引き続き、海外公演の実施に向け取組む。				

(様式3) 「成果指標」検証票

関連する主な取組					
施策番号	4-(2)-ウ-②	主な取組名	沖縄・奄美連携交流促進事業	対応課	地域・離島課
成果指標への寄与の状況	本事業における割引運賃の利用実績は53,451人（航空路12,047人、航路41,404人）で、目標値の72,800人に対し、約73.4%の達成状況となっており、年度別計画と比較して若干の遅れがあることとなった。				
要因分析	本事業について周知を強化する必要がある。				
対応案	更なる利用促進を図るため、本事業について県ホームページ等を活用し、周知を強化する。				

成果指標 検証票

施策名	5-(5)-イ-①	多彩で質の高いサービスを提供できる観光産業人材の育成・確保									
成果指標名	単位	基準値	実績値			目標値 R6年度	達成率	達成状況			
			R4	R5	R6						
宿泊事業者（正規雇用者）一人当たりの平均年収	円	3,129,946	3,555,318	3,555,318	3,543,619	3,533,709	102.5%	目標達成			
				(R4年度)	(R5年度)						
			計画値								
			3,264,399	3,399,256	3,533,709						
担当部課名	文化観光スポーツ部観光振興課										
達成状況の説明											
観光人材の確保や育成に向けた取り組みの実施により、令和6年度の実績値においては、計画値および目標値ともに上回る実績となっており、目標を達成した。											
要因分析											
類型	説明										
① 計画通りの進捗	宿泊事業者においては、コロナ禍における離職と需要の回復に伴い、人手不足が課題となっていることから、人材確保に向け、賃金・賞与の引き上げに取り組んだ事業者が多かった。										
対応案											
観光業界においては、人手不足の影響により、需要の取りこぼしやサービスの質が低下していることから、観光業界における人材確保・定着に向け、引き続き、支援する必要がある。											

(様式3) 「成果指標」検証票

関連する主な取組					
施策番号	5-(5)-イ-①	主な取組名	高度な観光人材の育成	対応課	観光振興課
成果指標への 寄与の状況	新任層や現場リーダー層向けにキャリアデザインやマネジメント等を習得できる研修を実施することにより人材の育成が図られ、施設の稼働率が上昇するとともに収益向上につながり、賃金等の待遇面が改善しやすくなることから従業員の満足度があがることが期待されるため、観光人材の定着に一定程度寄与するものと考ええる。				
要因分析	上記研修を実施することにより、人材の育成が図られ、施設の稼働率が上昇するとともに収益が向上し、従業員に対する待遇面の改善につながっていると考ええる。				
対応案	引き続き、観光人材の育成・確保に向けて支援していく。				
関連する主な取組					
施策番号	5-(5)-イ-①	主な取組名	観光人材確保に向けた支援	対応課	観光振興課
成果指標への 寄与の状況	観光事業者とマッチングを促進し、人材の確保を図ることで、施設の稼働率が上昇するとともに収益向上につながり、賃金等の待遇面が改善しやすくなることから従業員の満足度があがることが期待されるため、観光人材の定着に一定程度寄与するものと考ええる。				
要因分析	人材確保に取り組むことにより、稼働率が情報するとともに収益が向上し、従業員に対する待遇面の改善につながっていると考ええる。				
対応案	引き続き、観光人材の確保に向けて支援していく。				

(様式3) 「成果指標」検証票

関連する主な取組					
施策番号	5-(5)-イ-①	主な取組名	沖縄観光受入対策事業	対応課	観光振興課
成果指標への寄与の状況	児童・生徒および学生等を対象とした「出前講座」で「沖縄観光学習教材」を配布し、沖縄観光の魅力や価値や実際に観光現場で働く方々の声を届けることで、観光業への理解を深めるとともに、興味・関心を持つ機会となり、観光人材の定着に一定程度寄与するものとする。				
要因分析	人材確保に取り組むことにより、稼働率が情報するとともに収益が向上し、従業員に対する待遇面の改善につながっているとする。				
対応案	引き続き、観光人材の確保に向けて支援していく。				